

i モードメールとは	182
i モードメール／デコメールを作成する	
i モードメールを作成して送信する	182
デコメールを作成して送信する	186
テンプレートを利用してデコメールを作成する	189
ファイルを添付する	191
えチャットを使う	192
i モードメールを受ける・操作する	
i モードメールを自動的に受信する	194
i モードメールを選択して受信する	195
i モードメールがあるかどうかを問い合わせる	195
受信した i モードメールに返信する	196
受信した i モードメールを転送する	196
ファイルが添付または貼り付けられた i モードメールを受信したときは	197
メールBOXを操作する	
受信／送信／保存BOXのメールを表示する	198
受信／送信／保存メール一覧画面・詳細画面の見かた	200
メールを管理する	203
メールの履歴を利用する	
送受信したメールの履歴を表示する	209

メールの設定を行う

送受信メールを自動的にフォルダに振り分ける	210
メールグループを作成する	212
メールやメッセージR/Fの設定を行う	213

メッセージサービスを利用する

メッセージR/Fを自動的に受信する	215
受信したメッセージR/Fを見る	216

緊急速報「エリアメール」を利用する

緊急速報「エリアメール」とは	218
緊急速報「エリアメール」を受信する	218
緊急速報「エリアメール」の設定を行う	219

チャットメールを使う

チャットメールを利用する	219
チャットグループを作成する	223

SMSを使う

SMSを作成して送信する	224
SMSを自動的に受信する	225
SMSがあるかどうかを問い合わせる	226
SMSの設定を行う	226

WEBメールを使う

WEBメールを利用する	227
-------------	-----

i モードメールとは

i モードを契約するだけで、i モード端末間はもちろん、インターネットを経由してe-mailでのやりとりができます。
テキスト本文に加えて、合計2Mバイト以内で10個までファイル(JPEG、トルカ、PDFなど)を添付できます。また、デコメールにも対応しており、メール本文の文字の色・大きさや背景色を変えられるほか、絵文字のように挿入可能なデコメ絵文字もたくさんプリインストールされているため、簡単に表現力豊かなメールを作成し、送信できます。

- i モードメールの詳細については、「ご利用ガイドブック(i モード<FOMA>編)」をご覧ください。

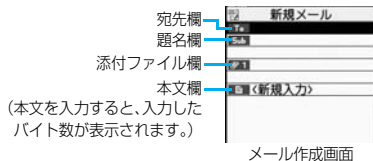
< i モードメール作成 >

i モードメールを作成して送信する

i モードメールを作成して送信します。

送信した i モードメールは、SMSと合わせて最大1000件まで送信BOXに保存できます。

デコメールを作成するにはP.186を参照してください。



メール作成画面

2 宛先欄を選択▶項目を選択

電話帳 電話帳を呼び出して電話番号またはメールアドレスを選択します。

送信アドレス一覧 電話番号またはメールアドレスを選択して (選択) を押します。

受信アドレス一覧 電話番号またはメールアドレスを選択して (選択) を押します。

メールグループ メールグループを選択します。

直接入力 メールアドレスや電話番号を入力します。

- 半角50文字まで入力できます。
- 送信する相手が i モード端末の場合は、メールアドレスの@より前の部分だけを入力しても送信できます。
- 複数の宛先に送信する場合はP.184参照。
- 追加した宛先を削除する場合はP.184参照。

3 題名欄を選択▶題名を入力

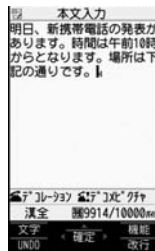
- 全角100文字/半角200文字まで入力できます。

4 添付ファイル欄を選択▶項目を選択

- 添付ファイルの選択方法についてはP.191参照。

5 本文欄を選択▶本文を入力

- 全角5000文字/半角10000文字まで入力できます。
- 冒頭文/署名を貼り付けるときはP.184参照。
- を1秒以上押すと、デコメピクチャを選択できます。



メール本文入力画面

6 (送信)を押す

送信中のアニメーション画面が表示され、メールが送信されます。

- 送信を途中で中止する場合は、(中止)または(CLR)(1秒以上)を押します。ただし、タイミングにより送信されることがあります。

7 OK

お知らせ

- 電波状況により、相手に文字が正しく表示されない場合があります。
- 絵文字を入力した i モードメールを他社携帯電話に送信すると、受信側の類似絵文字に自動的に変換されます。ただし、受信側の携帯電話の機種や機能によって正しく表示されないことや、該当する絵文字がない場合に文字または=に変換されることがあります。
- FOMA端末に保存した送信メールが最大保存件数を超えた場合は、送信メールのうち古いメールから順に上書きされます。ただし、保護されている送信メールは上書きされません。
- 送信BOXに送信メールを最大保存容量まで保存していて、そのすべてを保護している場合、または保存メールが20件ある場合や保存BOXの容量がいっぱいの場合は、i モードメールを作成できません。送信メールの保護を解除するか、保存メールを送信または削除してから操作をやり直してください。
- 電話番号入力中などの機能メニューから「i モードメール作成」を選択した場合、電話番号とメールアドレスが電話帳に登録されているとメールアドレスが宛先に入力されます。電話帳に複数のメールアドレスが登録されている場合は、1番目のメールアドレスが入力されます。
- 宛先が電話番号で、先頭に「184」または「186」が入力されている場合、送信しようとすると発番号設定を削除して送信するかどうかの確認画面が表示されます。
- 宛先の電話番号またはメールアドレスが電話帳に登録されているときは、電話帳に登録されている名前が宛先欄に表示されます。
- 宛先に「(カンマ)」が入力されている場合は送信できません。
- 宛先をTo、Cc、Bccに分けて送信できます。

お知らせ

- 入力した宛先がシークレットコードを設定して電話帳に登録している場合、送信するときに自動的にシークレットコードが追加されます。ただし、宛先が電話番号または「電話番号@docomo.ne.jp」以外のときは電話帳にシークレットコードを登録していても、シークレットコードは追加されず、通常の i モードメールとして送信されます。
- シークレットコードを登録してドコモ以外のアドレスにメール送信を行った場合、宛先不明などのエラーメッセージを受信できないことがあります。
- 受信側の端末によっては、題名がすべて受信できない場合があります。
- moviaサービスの i モード端末へは、本文は全角2000文字まで送信できます。
- 改行は全角1文字、スペースは全角または半角1文字分としてカウントされます。
- デコメ絵文字を入力するとデコメールになります。
- 2in1のモードがBモードの場合は、i モードメール作成はできません。

メール作成画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
送信	メールを送信します。 P.183手順7へ進みます。
送信プレビュー	送信する前に宛先、題名、本文、添付ファイルを確認します。 ●(送信)を押すとメールを送信できます。
保存	作成中や編集中のメールを保存BOXに保存します。

機能メニュー	操作・補足
宛先操作 (宛先追加)	宛先を追加すると、同じ内容の i モードメールを一度に複数の相手に送信できます。同時に送信できる宛先は5件までです。 ▶宛先追加▶項目を選択 電話帳 ... 電話帳を呼び出して電話番号またはメールアドレスを選択します。 送信アドレス一覧 ... 電話番号またはメールアドレスを選択して  (選択) を押します。 受信アドレス一覧 ... 電話番号またはメールアドレスを選択して  (選択) を押します。 直接入力 ... メールアドレスや電話番号を入力します。 ●続けて追加する場合は<未入力>を選択し、上記の手順を繰り返します。 ●  (機能) を押して「宛先削除」を選択すると、選択している宛先を削除できます。「YES」を選択します。 ●  (機能) を押して「宛先タイプ変更」を選択すると、メールのタイプを変更できます。(P.184参照) ●メール作成画面で入力済みの宛先を選択すると、宛先の一覧が表示されます。 ▶  (完了)
宛先操作 (宛先削除)	宛先が複数あるときに、選択している宛先を削除します。 ▶宛先削除▶YES
宛先操作 (宛先タイプ変更)	▶宛先タイプ変更▶宛先のタイプを選択 To... 直接の宛先です。宛先は受信側に表示されます。* Cc... 直接の送信相手以外にメール内容を知らせたいときに指定します。宛先は受信側に表示されます。* Bcc... 他の送信相手に知られたくないときに指定します。宛先は受信側に表示されません。 ※受信側の端末や機器、メールソフトなどによっては表示されない場合があります。

機能メニュー	操作・補足
添付ファイル操作 (カメラ起動)	画像や i モーションを撮影して添付します。  PRO  μ ご利用できません。 ▶カメラ起動▶撮影モードを選択 ●撮影方法についてはP.140、P.143参照。
添付ファイル操作 (添付ファイル追加)	P.191参照
添付ファイル操作 (添付ファイル削除)	P.192参照
テンプレート (テンプレート読み込み)	テンプレートを読み込んでデコメールを作成します。 ▶テンプレート読み込み ●すでに本文が入力されている場合は、本文を削除するかどうかの確認画面が表示されます。 ▶テンプレートを選択 テンプレートの内容が本文に入力されます。 ●テンプレート選択中に  (デモ) を押すとテンプレートの内容を確認できます。 ●デコメールの作成についてはP.186参照。
テンプレート (テンプレート保存)	作成中のデコメールをテンプレートとして保存します。 ▶テンプレート保存▶YES ●保存されているテンプレートがいっぱいのときはP.170参照。 ●保存したテンプレートの確認方法についてはP.189参照。
冒頭文・署名貼付	冒頭文・署名を i モードメールの本文の先頭/最後に貼り付けます。 ▶冒頭文貼付・署名貼付 ●あらかじめ冒頭文・署名を登録しておく必要があります。(P.214参照)

お知らせ

<宛先操作>

- 「To」、「Cc」、「Bcc」合わせてすでに宛先が5件入力されているときや、宛先が1件も入力されていない場合は、宛先を追加できません。
- 宛先に「To」設定がない i モードメールは送信できません。

お知らせ

<テンプレート(テンプレート保存)>

- 作成中のメールの題名がテンプレートのタイトル名となります。題名が入力されていない場合は「YYYY/MM/DD hh:mm」となります。
(Y:西暦、M:月、D:日、h:時、m:分)

<冒頭文/署名貼付>

- 冒頭文と本文または署名と本文の合計が全角5000文字、半角10000文字を超える場合は、貼り付けできません。
- 本文の先頭や文末に文字色や文字サイズのデコレーションが設定されている場合は、冒頭文や署名も合わせてデコレーションされます。

メール本文入力画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
デコレーション	P.187参照
テンプレート (テンプレート読み込み)	P.184参照
テンプレート (テンプレート保存)	P.184参照
全角切替・半角切替	P.369参照
コピー	P.372参照
切り取り	P.372参照
貼り付け	P.372参照
元に戻す (UNDO)	文字の入力や削除、貼り付け、デコレーションなどをひとつ前の状態に戻します。2回まで戻せます。 ●  () を押しても戻せます。
絵文字/記号入力 (絵文字入力)	P.369参照
絵文字/記号入力 (記号入力)	P.369参照
絵文字/記号入力 (スペース入力)	P.369参照

機能メニュー	操作・補足
定型文/区点/引用 (定型文入力)	P.369参照
定型文/区点/引用 (区点入力)	P.369参照
定型文/区点/引用 (日付/時刻入力)	P.369参照
定型文/区点/引用 (電話帳引用)	P.370参照
定型文/区点/引用 (個人データ引用)	P.370参照
定型文/区点/引用 (バーコードリーダー)	P.149参照 PRO  ご利用できません。
文字入力/辞書設定 (ユーザ辞書)	P.372参照
文字入力/辞書設定 (学習履歴)	P.373参照
文字入力/辞書設定 (入力モード切替)	P.370参照
文字入力/辞書設定 (候補表示サイズ)	P.370参照
文字入力/辞書設定 (予測機能)	P.368参照
文字入力/辞書設定 (関係候補表示)	P.370参照
文字入力/辞書設定 (文字確定時間)	P.370参照
文字入力/辞書設定 (2タッチ/ ニコタッチ ガイドンス)	P.370参照

機能メニュー	操作・補足
ヘルプ	P.370参照
JUMP	P.370参照
プレビュー	送信する前に本文の内容を確認します。

お知らせ

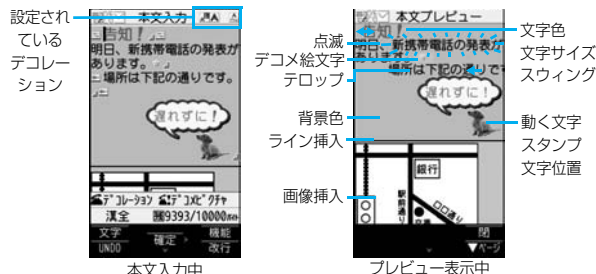
<元に戻す(UNDO)>

- 「元に戻す(UNDO)」でひとつ前の状態に戻したあと、「元に戻す(UNDO)」の取り消しはできません。
- メール本文入力画面を終了すると、再度メール本文入力画面を表示しても「元に戻す(UNDO)」でひとつ前の状態には戻せません。([「プレビュー」]でプレビューを表示後の場合は戻せます。)

デコメールを作成して送信する

i モードメール本文編集時に文字の大きさや背景の色などを変えたり、画像を挿入することによって自分のオリジナルメールを作成して送信できます。

また、テンプレート(ひな形)を使用して作成できます。(P.189参照)



1 P.182の手順1～手順3の操作を行う

2 本文欄を選択▶パレットを使って本文をデコレーションする

- パレットの使いかたについてはP.187参照。

デコレーションを選択してから本文を入力する場合

▶デコレーションを選択▶本文を入力

本文を入力してからデコレーションを設定する場合

本文を入力▶▶ (範囲選択)

P.188「範囲選択」へ進みます。

- 全角5000文字/半角10000文字まで入力できます。(デコレーションにより、入力できる文字数は少なくなります。)
- メール本文をデコレーションすると、「」が表示されます。

3 (確定)を押す

メール作成画面が表示されます。

P.183手順6へ進みます。

お知らせ

- デコレーションした文字を削除しても、デコレーションデータのみが残り、入力文字数が少なくなる場合があります。デコレーションの解除を行ってから文字を削除してください。なお、(CLR)を1秒以上押して文字を削除した場合は、デコレーションデータも含めて文字が削除されます。
- 受信したデコメールを引用返信、転送した場合、デコレーションや挿入した画像はそのままの状態で本文に入力されます。
- メール送信できない画像が含まれたテンプレートを利用すると、画像が削除されます。
- 送信先のiモード端末によっては、10000バイトを超えるデコメールを送信した場合、送信先では閲覧用のURLが記載されたメールを受信します。ただし、機種によっては、本文のみ受信し、閲覧用のURLがないメールを受信する場合があります。
- パソコンなどとデコメール送受信すると、デコレーションが正しく表示されない場合があります。
- テロップ・スウィングの動作や点滅、アニメーションは、一定の時間が経過すると停止します。

デコレーションについて

パレットを使って、i モードメールの本文をデコレーションします。
1箇所に複数のデコレーションを設定できます。

- 文字位置・テロップ・スウィングを1箇所に組み合わせることはできません。
- ライン挿入は文字色で指定している色で挿入されます。
- 画像挿入と動く文字スタンプ作成は文字位置・テロップ・スウィングで指定している状態で挿入されます。
- デコメ絵文字は「画像挿入」で入力できますが、機能メニューの「絵文字入力」からも入力できます。

■パレットの使いかた

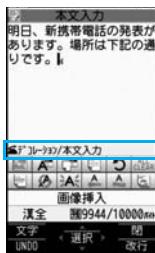
メール本文入力画面でを押すとパレットが表示されます。

- デコレーションしている文字にカーソルがある場合、設定しているデコレーションのアイコンが押された状態で表示されます。
押された状態のアイコンを選んで (選択) を押すとデコレーションを変更または終了、解除できます。
範囲選択中は(CLR)を押しても範囲選択を解除できます。
-  (閉) を押すと、パレットが閉じます。パレット操作中に(CLR)を押しても、パレットが閉じます。

操作を切り替える

を押すごとに、パレットの操作と本文入力の操作を切り替えることができます。パレットを表示したままカーソルを移動させたり、本文を入力したりできます。

- 文字を入力後は「本文入力操作」になります。
続けてパレットを操作する場合は、を押してから操作します。



パレット操作

■デコレーションの操作方法

機能	操作・補足
 (画像挿入/ 文字スタンプ作成)	入力する文字をスタンプにして本文に挿入します。スタンプはアニメーションになり様々な動きをして相手に気持ちを伝えてくれます。 ▶  ▶ 動く文字スタンプを選択 ▶ 文字を入力 ●動く文字スタンプを削除するには、動く文字スタンプにカーソルをあて、(CLR)を押します。
 (画像挿入/ マイピクチャ)	「マイピクチャ」に保存されている画像をメール本文に挿入します。 ▶  ▶ フォルダを選択 ▶ 画像を選択 ●メール本文入力画面で  を1秒以上押すと、デコメピクチャを選択できます。 ●画像を削除するには、画像にカーソルをあて、(CLR)を押します。
 (画像挿入/カメラ)	その場でカメラを起動して撮影した画像をメール本文に挿入します。  ご利用できません。 ▶  ▶ 静止画を撮影 ●カメラの画像サイズはSub-QCIF(128×96)、QCIF(176×144)、QVGA(240×320)、CIF(352×288)、待受(240×427)です。 ●画像を削除するには、画像にカーソルをあて、(CLR)を押します。 ●撮影方法についてはP.140手順2、手順3参照。
 (文字色)	入力する文字の色、ラインの色を変更します。 ▶ 色を選択 ▶ 文字を入力 ●文字色を変更中は画面の右上に  が表示されます。 ●続けて他のデコレーションも設定できます。 ●範囲選択している場合は、文字を入力する必要はありません。
 (背景色)	メール本文の背景色を変更します。 ▶ 色を選択

機能	操作・補足
 (ライン挿入)	メール本文にライン(水平線)を挿入します。 自動的に改行が挿入され、ラインが挿入されます。 ●ラインを削除するには、ラインにカーソルをあて、 を押します。
 (元に戻す (UNDO))	設定したデコレーションなどをひとつ前の状態に戻します。 2回まで戻せます。 ●()を押しても戻せます。
 (デコレーション 全解除)	すべてのデコレーションを解除します。 ▶YES ●挿入した画像がある場合は、「インライン画像を削除しました」と表示されます。
 (範囲選択)	入力済みの文字を選択して文字色、点滅、文字サイズ、文字位置、テロップ、スウィングを設定します。また、設定済みのデコレーションを変更、追加したり、点滅、テロップ、スウィングを解除できます。 ▶始点を選択 ●()を押して「YES」を選択すると全文を選択できます。 ▶終点を選択 各デコレーションを設定、変更、追加、解除します。 ●範囲選択中は画面の右上に「SELECT」が表示されます。 <デコレーションを設定、変更、追加する> ▶アイコンを選択し、デコレーションを設定、変更、追加 ●複数のデコレーションを変更する場合やデコレーションを追加する場合は、続けて他のアイコンを選択します。 ▶ ●点滅、テロップ、スウィングを設定した場合は、再度それぞれのアイコンを選択して各デコレーションを終了します。 <点滅、テロップ、スウィングを解除する> ▶点滅、テロップ、スウィングのアイコンを選択 ▶再度同じアイコンを選択

機能	操作・補足
 (文字サイズ)	入力する文字のサイズを変更します。 ▶サイズを選択▶文字を入力 ●文字サイズを変更中は画面の右上に「」「が表示されます。 ●続けて他のデコレーションも設定できます。 ●範囲選択している場合は、文字を入力する必要はありません。
 (点滅設定)	入力する文字を点滅表示させます。 ▶文字を入力 文字が点滅表示されます。 ●点滅を設定中は画面の右上に「が表示されます。 ●続けて他のデコレーションも設定できます。 ▶▶ (点滅解除)
 (テロップ設定)	入力する文字、挿入する画像をテロップ表示(右から左へ流れる表示)させます。 ▶文字を入力 自動的に改行が挿入され、カーソルの前後に「 が表示されます。 ●テロップを設定中は画面の右上に「が表示されます。 ●続けて他のデコレーションも設定できます。 ▶▶ (テロップ解除) 自動的に改行が挿入されます。
 (スウィング設定)	入力する文字、挿入する画像をスウィング表示(左右を往復する表示)させます。 ▶文字を入力 自動的に改行が挿入され、カーソルの前後に「 が表示されます。 ●スウィングを設定中は画面の右上に「が表示されます。 ●続けて他のデコレーションも設定できます。 ▶▶ (スウィング解除) 自動的に改行が挿入されます。

機能	操作・補足
 (文字位置)	入力する文字、挿入する画像の位置を変更します。 ▶文字位置を選択▶文字を入力 自動的に改行が入力され、文字位置が設定されます。 ●文字位置を設定中は画面の右上に「  」が表示されます。 ●続けて他のデコレーションも設定できます。 ●範囲選択している場合は、文字を入力する必要はありません。

お知らせ

<画像挿入>

- 画像は20種類まで、合計90Kバイトまで挿入できます。ただし、操作によっては20種類以下でも画像の数がオーバーするため再編集する旨の確認画面が表示されます。
- 同一の画像を複数挿入した場合、挿入数は1種類として扱われます。既に挿入されている画像をコピー／ペーストした場合も同一画像の挿入と見なされ合わせて1種類として扱われます。

<文字色>

- 別の色が設定されている文字にカーソルを移動させると、その文字色に設定が変わります。
- 絵文字の色も指定した文字色で表示されます。通常の色に戻したいときは「指定なし」に設定してください。
- デコメ絵文字の色は変更できません。

<背景色>

- 冒頭文や署名の編集時は背景色を変更できません。

<文字サイズ>

- 別の文字サイズが設定されている文字にカーソルを移動させると、移動先の文字サイズに設定が変わります。
- デコメ絵文字のサイズは変更できません。

<点滅設定>

- デコメ絵文字は点滅させることはできません。

<テンプレート>

テンプレートを利用してデコメールを作成する

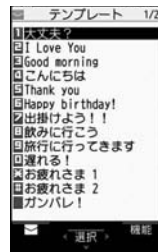
テンプレートとは、文字の大きさや画像挿入などのデコレーションがすでに指定されているデコメール用のひな形データです。

お買い上げ時に保存されている以外に、サイトからダウンロードしたり(P.168参照)、送受信したデコメールや作成中のデコメールをテンプレートとしてメールメニューの「テンプレート」に保存したりできます。(P.184、P.208参照)

保存したテンプレートはパレットで編集できます。

- お買い上げ時に保存されているテンプレートは削除できます。「P-SQUARE」のサイト(P.170参照)から再びダウンロードできます。ダウンロード時と異なるFOMAカード使用中は、FOMAカード動作制限機能(P.38参照)が設定されます。

1 ▶テンプレート▶テンプレートを選択



テンプレート一覧画面



テンプレート詳細画面

-  ()を押すと、テンプレートの内容でデコメールの作成になります。P.182手順2へ進みます。
- 「冒頭文／署名設定」で冒頭文や署名を自動で貼り付けるように設定していても、冒頭文や署名は貼り付けられません。
- 「iモードで探す」を選択した場合はP.169参照。

テンプレート一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
i モードメール作成	テンプレートの内容でデコメールを作成します。 P.182手順2へ進みます。
ソート	表示される順番を変更します。 ▶ 順番を選択
タイトル編集	▶ タイトルを入力 ● 全角15文字/半角30文字まで入力できます。
情報表示	テンプレートのファイルサイズ、保存日時、画像の有無を表示します。
保存件数確認	テンプレートの保存件数を表示します。
削除 (1件削除)	▶ 1件削除 ▶ YES
削除 (選択削除)	▶ 選択削除 ▶ 削除したいテンプレートにチェック ▶  完了 ▶ YES
削除 (全削除)	▶ 全削除 ▶ 端末暗証番号を入力 ▶ YES

テンプレート詳細画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
i モードメール作成	テンプレートの内容でデコメールを作成します。 P.182手順2へ進みます。
編集	テンプレートの内容を編集して保存します。 ▶ 本文を編集 ▶  保存 ▶ YES・NO YES... 上書きして保存します。 NO... 別データとして保存します。 ● 本文の編集方法についてはP.186手順2、手順3参照。 ● 保存しているテンプレートがいっぱいのときはP.170参照。
挿入画像保存	テンプレートやデコメールの本文に挿入された画像を保存して、待受画面やウェイクアップ画面などに設定できます。 ▶ 画像を選択 ▶ YES ▶ 保存したいフォルダを選択 P.166手順3へ進みます。 ● 保存している画像がいっぱいのときはP.170参照。

お知らせ

<編集>

- 別データとして保存したときのタイトル名は「YYYY/MM/DD hh:mm」となります。(Y:西暦、M:月、D:日、h:時、m:分)

<挿入画像保存>

- デコメ絵文字の場合は「デコメ絵文字」フォルダの「お気に入り」フォルダに保存されます。

<添付ファイル>

ファイルを添付する

i モードメールにファイルやデータを添付して送信します。

以下のファイルを添付できます。

- ・静止画
- ・動画 / i モーション
- ・メロディ
- ・PDF
- ・トルカ
- ・電話帳
- ・スケジュール
- ・ToDo
- ・Bookmark (i モード、フルブラウザ)
- ・Word
- ・Excel
- ・PowerPoint
- ・SD その他ファイル

最大10件まで、合計2Mバイトまで添付できます。

- メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルは添付できません。
- 自端末で撮影した静止画や動画 / i モーション、赤外線を受信したファイルは、「ファイル制限」の設定に関わらず添付できます。
- ファイルを添付するとメール作成画面に添付ファイル欄が1つ増えます。
- 送信先の i モード端末によっては、その端末のメール受信容量内で、対応しているファイルのみ受信します。
- 添付ファイルのサイズによっては、送信に時間がかかる場合があります。

1 メール作成画面▶ 添付ファイル欄を選択

▶ 以下の操作を行う

項目	操作・補足
ピクチャ	▶ フォルダを選択 ▶ 画像を選択 ●添付した画像を選んで (選択) を押すと、画像を表示できます。元の画面に戻るには (CLR) を押します。
メロディ	▶ フォルダを選択 ▶ メロディを選択 ●添付したメロディを選んで (選択) を押すと、メロディを再生できます。 いずれかのボタンを押すと再生は停止します。

項目	操作・補足
i モーション	▶ フォルダを選択 ▶ i モーションを選択 ●添付した i モーションを選んで (選択) を押すと、i モーションを再生できます。 元の画面に戻るには再生中に (CLR) を押すか、再生を停止します。
トルカ	トルカがトルカ (詳細) の場合はトルカ (詳細) として添付されます。 ▶ フォルダを選択 ▶ トルカを選択 ●添付したトルカを選んで (選択) を押すと、プレビューが表示されます。(CLR) を押すと元の画面に戻ります。
PDF	▶ フォルダを選択 ▶ PDFを選択 ●添付したPDFを選んで (選択) を押すと、PDFを表示できます。元の画面に戻るには (CLR) を押します。
電話帳	▶ 検索方法を選択 ▶ 電話帳を選択 ▶ (選択) ●前回、検索方法を指定している場合は、その検索方法で検索されます。
スケジュール	▶ 日付を選択 ▶ スケジュールを選択 ▶ (選択)
ToDo	▶ ToDoを選択 ▶ (選択)
Bookmark	▶ i モード・フルブラウザ ▶ ブックマークを選択
ドキュメント ファイル	Word, Excel, PowerPointのファイルを添付します。 ▶ フォルダを選択 ▶ ファイルを選択
その他	「SD その他ファイル」に保存しているファイルを添付します。 ▶ フォルダを選択 ▶ ファイルを選択

2 P.182手順2へ進む

お知らせ

<ピクチャ>

- movaサービスのiモード端末へは添付ファイル形式ではなく、画像閲覧用URLおよび画像の保存期限が自動的に付与されて送信され、そのURLを選ぶことで画像を取得できます。movaサービスのiモード端末へ送れるメール本文は最大全角184文字(369バイト)です。(受信するmova端末の受信文字数が「全角250文字」の場合)
複数ファイルを添付した場合、添付ファイルは削除され、メール本文のみ通知されます。
- GIF画像はmovaサービスのiモード端末では受信できません。
- Flash画像も添付できません。
- 受信側の機種によっては、静止画が正しく受信できなかったり、受信した画像が表示できない場合や粗く表示される場合があります。

<メロディ>

- microSDメモリーカードに保存しているメロディは添付できません。メロディをFOMA端末にコピーしてください。(P.299参照)
- 受信側がFOMA P705iμ/PROSOLID μ以外の場合は、送信したメロディが正しく再生されないことや添付削除されることがあります。
- 添付されたメロディはmovaサービスのiモード端末では受信できません。

<i モーション>

- i モーションによっては、ファイルサイズが増減したり、メールに添付できない場合があります。
- microSDメモリーカードに保存している動画は添付できません。動画をFOMA端末にコピーしてください。(P.299参照)
- 受信側の端末によっては、正しく受信、表示ができない場合や、動画が粗くなったたり連続静止画に変換される場合があります。
2Mバイト対応機種以外のiモード端末に送信する場合には、以下の設定で撮影した動画がおすすめです。
動画容量設定: メール制限(小)
画質設定: ノーマル

<トルカ>

- microSDメモリーカードに保存しているトルカは添付できません。トルカをFOMA端末にコピーしてください。(P.250参照)

添付ファイル削除

選択している添付ファイルを削除/全削除します。

1 メール作成画面▶ (機能) ▶ 添付ファイル操作 ▶ 添付ファイル削除 ▶ 1件削除・全削除 ▶ YES

- 1件削除の場合は削除したい添付ファイルを選んでおきます。

<えチャット>

えチャットを使う

音声電話中の相手に静止画を送ります。静止画はiモードメールの添付ファイルとして送信され、通話中に画像を見ることができます。

えチャットを利用するには、あらかじめ相手の電話番号とメールアドレスを同じ電話帳に登録しておく必要があります。

相手側の機種によっては、通話中に画像を見られない場合があります。

PRO μ 静止画の撮影・送信はできません。

静止画を撮影して送信する

音声電話中に静止画を撮影して送信します。

1 音声電話中▶ (機能) ▶ えチャット撮影/送信 ▶ フォトモード

カメラが起動します。

2 (撮影)を押す

静止画が撮影されます。

- 撮影画面でを押すと通話画面に戻ります。
- 撮影画面の操作についてはP.145参照。

3 (送信) ▶ メールアドレスを選択

静止画が保存され、送信されます。

-  (機能) を押して「保存&メール送信」を選択しても送信できます。
-  (機能) を押して「ピクチャ貼付」「ファイル制限」を設定することもできます。(P.142、P.148参照)
- 複数のメールアドレスが登録されているときは、送信する宛先のメールアドレスを選択します。
- 「中止」を選択した場合は、画像添付メールとして保存BOXに保存されます。

お知らせ

- カメラの画像サイズは、QCIF(176×144)、Sub-QCIF(128×96)です。

静止画を選択して送信する

保存されている静止画を送信します。

1 音声電話中 (機能) ▶ えチャット撮影／送信 ▶ マイピクチャ

2 フォルダを選択 ▶ 静止画を選択 ▶ メールアドレスを選択

静止画が送信されます。

- QCIF(176×144)、Sub-QCIF(128×96)のファイルのみ選択できます。
- 複数のメールアドレスが登録されているときは、送信する宛先のメールアドレスを選択します。

えチャットを受信したときは

「えチャット表示設定」を「自動表示する」に設定していると、自動で静止画が表示されます。

複数のえチャットを受信したときは  で静止画を切り替えることができます。

- 音声電話中に  (機能) を押して「えチャット表示」を選択すると、受信している静止画を表示できます。
- 音声電話中に  (機能) を押して「i モード問い合わせ」を行うこともできます。(P.195参照)

お知らせ

- 次の場合、えチャットは利用できません。
 - ・通話中の相手の電話番号とメールアドレスが同じ電話帳に登録されていないとき
 - ・通話中の相手の電話番号とメールアドレスがシークレットデータとして電話帳に登録されているとき
 - ・音声電話を受けた側に、電話番号が通知されない状態(非通知設定、公衆電話、通知不可能など)のとき(ただし、電話をかけた側からは送信可能です。)
 - ・指定発信制限中、通話中の相手の電話番号が指定発信制限に設定されていないとき
 - ・送信BOXに送信メールを最大保存容量まで保存していて、そのすべてを保護しているとき、または保存メールが20件あるときや保存BOXの容量がいっぱいのとき(送信できません。)
 - ・受信BOXが未読または保護しているメールでいっぱいするとき(受信できません。)
 - ・キャッチホン中のとき
 - ・2in1のモードがBモードのとき
- Flash画像はえチャット送信できません。
- 画像によってはえチャット送信できない場合があります。
- 送受信したえチャットは、画像添付メール(題名は電話番号)として送信BOX／受信BOXに保存されます。

<メール自動受信>

i モードメールを自動的に受信する

FOMA端末が通話圏内にあるときには、自動的に i モードメール・SMS・SMS送達通知が送られてきます。(i モードメールを選択して受信するにはP.195参照。)

メールが届くと画面の上部に「 (白色)」が表示されます。

受信した i モードメールは、SMSと合わせて最大2500件まで保存できます。

1 i モードメールを受信すると「 (白色)」が点滅し、受信中のメッセージが表示される

受信が終わると、受信した i モードメールとメッセージR/Fの件数が表示されます。

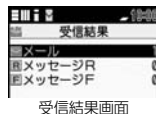
●「メール」を選択すると受信メール一覧画面が表示されます。

●受信を途中で中止する場合は、「メール受信…」と表示されている間に「中止」を選択するか「」を1秒以上押します。ただし、タイミングによっては受信されます。

●何も操作しないで約15秒経過するとデスクトップに「」(P.112参照)が表示され、元の画面に戻ります。「メール/メッセージ鳴動」の設定により、秒数は異なります。

●を押し、「」を選んで「 選択」を押すと、受信メール一覧画面が表示されます。

●FOMA端末を閉じているときは、P.31参照。



受信結果画面

お知らせ

●FOMA端末に保存している、未読または保護している受信メールの合計が最大保存件数になった場合は、新しいメールを受信できず、「 (黒色)」が表示されます。i モードメールを受信するには、「 (黒色)」が消えるまで受信メールを削除するか、未読のメールを読むか、保護を解除してから「i モード問い合わせ」を行ってください。

●i モードメールではメロディや静止画などを添付ファイルとして受信できます。対応していない添付ファイルは受信は可能ですが表示はできません。

●To、Cc、Bccを設定できる端末からメールが送信された場合、自分がTo、Cc、BccのどれにあてはまるかFOMA端末で確認できます。

●以下のような場合にメールを受信したときは、i モードセンターに保管されます。

- ・電源OFFのとき
- ・テレビ電話中
- ・セルフモード設定中
- ・圏外の場合
- ・赤外線通信中
- ・FirstPassセンター接続中
- ・おまかせロック中
- ・iC通信中
- ・microSDへコピー中
- ・お預かりセンターに接続中
- ・保護または未読メールにより、受信BOXの容量が満杯のとき

●i モードセンターに i モードメールが保存されているときは「 (白色)」が、i モードセンターの i モードメールが一杯のときは「 (黒色)」が表示されます。

新着 i モードメールを表示する

1 受信結果画面▶メール▶表示したい i モードメールを選択

- i モードメールの詳細画面で「」を1秒以上押すと、本文の文字の大きさが変わります。「特大表示」「拡大表示」に設定すると、フォルダ一覧画面とメール一覧画面の文字サイズも大きくなります。



お知らせ

- 新しく表示できない文字はスペースなどで表示されます。

お知らせ

- ・iモードメールの本文が受信可能な文字数を超えた場合は、本文の最後に「/」または「//」が挿入され、超えた部分が自動的に削除されます。
- ・メール表示時に自動的に表示される静止画は正しく表示できない場合があります。また、画像サイズがディスプレイより大きい場合は、縦横比を保ったまま縮小して表示されます。
- ・パソコンなどから送信された装飾付きのメール(HTMLメール)を受信すると、装飾が正しく表示されない場合があります。

<メール選択受信>

iモードメールを選択して受信する

iモードセンターに保管されているiモードメールのタイトルなどを確認し、受信するメールを選択したり、受信前にiモードセンターでメールを削除できます。

メール選択受信を利用するには、あらかじめ「メール選択受信設定」を「ON」に設定します。

なお、「ON」に設定した場合は、自動的にiモードメールを受信できません。メールがiモードセンターに届くと「」が表示されます。

メール選択受信設定

iモードメールを選択受信するかどうかを設定します。

1 ▶ メール設定 ▶ メール選択受信設定 ▶ ON・OFF

メールを選択受信する

1 ▶ メール選択受信 ▶ 「ご利用ガイドブック (iモード<FOMA>編)」の手順に従って操作

- ・「メール選択受信設定」が「OFF」の場合は、「ON」に設定する旨の画面が表示されます。

 (選択) を押すと「メール選択受信設定」を設定できます。

- ・ i Menu ▶ メニューリスト ▶ メール選択受信の操作を行ってもメール選択受信画面が表示されます。

お知らせ

- ・メール選択受信設定を「ON」に設定していても「iモード問い合わせ」を行うとすべてのメールを受信しますので、受信したくない場合には、問い合わせたい項目から「メール」を外してください。(P.214参照)
- ・メール選択受信画面を表示した場合、「」のアイコンは消灯します。また、電源を切ったり、メール画面を表示した場合なども「」のアイコンは消灯します。
- ・SMSは選択して受信できません。

<iモード問い合わせ>

iモードメールがあるかどうかを問い合わせる

iモードセンターに届いたiモードメールやメッセージR/Fは自動的にFOMA端末へ送信されますが、FOMA端末の電源が入っていないときや、圏外などで受信できないとき、またはメール選択受信設定が「ON」のときは、iモードセンターに保管されます。

「 (白色)」が表示された場合は、iモードセンターへ問い合わせを行い、それらを受信します。

「」が表示された場合は、「メール選択受信」参照。

1 を1秒以上押す

「 (白色)」と「 (白色)・ (白色)」が点滅して「問い合わせ中」と表示され、iモードメールやメッセージR/Fを受信します。

問い合わせ結果には、新しく受信したiモードメールとメッセージR/Fの件数を表示します。

- ・受信を途中で中止する場合は、「CLR」を1秒以上押します。ただし、タイミングにより受信されることがあります。

お知らせ

- ・「 (黒色)」 「 (黒色)・ (黒色)」 「 (黒色)」などのアイコンが表示されたときは、FOMA端末はこれ以上iモードメールやメッセージR/Fを受信できません。不要なメールやメッセージを削除するか、未読のメールやメッセージを読むか、保護を解除してください。(読んだり、保護を解除したりしたメールやメッセージは、古いものから順に自動的に上書きされます。)

お知らせ

- i モードセンターに i モードメールが保管されている場合でも、そのことを示すアイコン「」(白色)や、i モードセンターの i モードメールが一杯になっていることを示すアイコン「」(黒色)が表示されないことがあります。(FOMA 端末の電源が入っていないときにセンターに届いた場合など)
- 問い合わせをする項目を「i モード問い合わせ設定」で選択できます。
- 本機能でSMSは受信できません。SMSは「SMS問い合わせ」で受信してください。

<返信><引用返信>

受信した i モードメールに返信する

送信元に返信します。「引用返信」では、受信した i モードメールの本文を引用して返信できます。SMSは引用返信できません。

1 受信メール一覧画面・受信メール詳細画面

▶ (機能) ▶ 返信／転送 ▶ 返信・引用返信

- (返信) を押しても返信できます。
- 自分以外に同報先があるときは、送信元の方に返信するか、すべての宛先に返信するかを選択できます。
「送信元へ」または「すべてへ」を選択します。
- 引用符 (P.215 参照) は、引用返信する i モードメールの本文の先頭にひとつだけ付きます。

2 題名、本文を入力して送信する

i モードメールを選択していた場合はP.182手順3へ進みます。
SMSを選択していた場合はP.224手順3へ進みます。
送信すると「」が「」に変わります。

お知らせ

- 返信できない送信元(メールアドレスが半角文字で50文字を超えているときなど)には「」が表示されます。
- 返信または引用返信する際は題名に「Re:」が追加されます。題名の文字数が全角文字で100文字を超えたときは、超えた部分が削除されます。(すでに「Re:」が付いているときは「Re2:」となり、「Re99:」まで付きます。)

お知らせ

- i モードメール本文に、貼り付けデータがある場合、返信をしても貼り付けデータは引用できません。また、ドコモケータイdatalink使用時や赤外線通信時も貼り付けデータは引用できません。貼り付けデータについては、P.201 参照。
- メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されている画像がデコメールの本文に挿入されている場合、画像が削除されて返信されます。

<転送>

受信した i モードメールを転送する

i モードメールやSMSを他の人に転送できます。

1 受信メール一覧画面・受信メール詳細画面

▶ (機能) ▶ 返信／転送 ▶ 転送

- 受信メール一覧画面表示中は、 (転送) を押しても転送できます。

2 宛先を入力して送信する

i モードメールを選択していた場合はP.182手順2へ進みます。
SMSを選択していた場合はP.224手順2へ進みます。
送信すると「」が「」に変わります。

お知らせ

- 転送する際は題名に「Fw:」が追加されます。題名の文字数が全角文字で100文字を超えたときは、超えた部分が削除されます。(すでに「Fw:」が付いているときは「Fw2:」となり、「Fw99:」まで付きます。)
- 取得されていないファイルがある i モードメールを転送すると、ファイルの情報は削除されます。
- i モードメール本文に、貼り付けデータがある場合、転送をしても貼り付けデータは引用できません。また、ドコモケータイdatalink使用時や赤外線通信時も貼り付けデータは引用できません。貼り付けデータについては、P.201 参照。
- FOMA端末外への出力が禁止されているデータを含むトルカ(詳細)が添付されているメールを転送する場合、添付ファイルは詳細を取得する前のトルカになります。

お知らせ

- microSDメモリーカード内に保存されているメールを転送する場合は、添付ファイルは削除されます。
- 2in1のモードがデュアルモード中にBナンバー／Bアドレス宛のメール・SMSを「転送」した場合は、Aモードに切り替えても送信BOXまたは保存BOXに送信メールが残ります。

ファイルが添付または貼り付けられたiモードメールを受信したときは

FOMA端末では、2Mバイトまでの添付ファイルを受信できます。ただし、100Kバイトを超えるファイルは添付ファイルの情報だけが受信されますので、改めてiモードセンターから取得する必要があります。

FOMA端末が対応しているのは以下のファイルです。

- ・静止画
- ・動画／iモーション
- ・メロディ
- ・PDF
- ・PC動画
- ・トルカ
- ・電話帳
- ・スケジュール
- ・ToDo
- ・Bookmark(iモード、フルブラウザ)
- ・Word
- ・Excel
- ・PowerPoint

上記以外のファイルはFOMA端末で再生・表示できません。「SDその他ファイル」内の任意のフォルダに保存するか、またはiモードメールで転送できます。

「添付ファイル優先受信」で受信するファイルを選択できます。

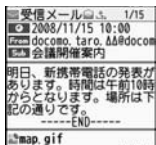
- 複数のデータが貼り付けられている場合、その貼り付けデータ自体が表示されないことがあります。

選択受信添付ファイルを取得する

iモードセンターに保管されている選択受信添付ファイルを取得します。

1 受信メール詳細画面 ▶ 取得前の添付ファイルを選択

取得完了後、ファイルが再生／表示されます。



お知らせ

- 受信BOX内の空き容量が添付ファイルより少ないときは取得できません。

添付または貼り付けられたファイルを再生／表示する

取得済みの添付または貼り付けられたファイルを再生または表示できます。

1 送信メール詳細画面・受信メール詳細画面 ▶ 添付ファイルを選択

ファイルが再生または表示されます。

- PC動画、ドキュメントファイルの場合は、再生または表示できない旨の確認画面が表示されます。microSDメモリーカードに保存してから再生／表示してください。
- ドキュメントファイルの場合は、「ドキュメントビューア」内の保存先フォルダに保存されます。
- 電話帳、スケジュール・ToDo、ブックマーク、FOMA端末では対応していないファイルの場合は、保存するかどうかの確認画面が表示されます。

お知らせ

- 送信元がFOMA P705iμ/PROSOLID μ以外の場合、送られてきたメロディが正しく再生できない場合があります。
- 添付ファイルの1件目が取得済み静止画の場合は、メール表示時にその静止画のみ自動的に表示されます。自動的に表示される静止画のサイズは5M(2592×1944)サイズまでです。
- 画像のサイズがディスプレイより大きいときは、縮小して表示されます。
- 100Kバイトを超えるメロディの場合は再生できません。
- 100Kバイトを超えるFlash画像の場合は再生できません。
- トルカの場合1Kバイト、トルカ(詳細)の場合100Kバイトを超えていると表示できません。

添付または貼り付けられたファイルを保存する

取得済みの添付または貼り付けられたファイルを保存できます。ファイルによっては着音に設定できたり、待受画面やウェイクアップ画面などに設定できます。

1 送信メール詳細画面・受信メール詳細画面・メッセージR/F詳細画面▶添付ファイルを選んで(機能)

▶ファイル操作▶添付ファイル保存▶YES

- PC動画の場合は、「PC動画」内の「microSD」フォルダ内の保存先フォルダに保存されます。
- ドキュメントファイルの場合は、「ドキュメントビューア」内の保存先フォルダに保存されます。
- FOMA端末では対応していないファイルの場合は、「SDその他ファイル」内の保存先フォルダに保存されます。
- FOMA端末に対応しているファイルでも、サイズが大きすぎたり無効なデータのファイルなど、ファイルによってはFOMA端末に保存できない場合があります。この場合microSDメモリーカードに保存するかどうかの確認画面が表示されます。保存する場合は「SDその他ファイル」内の保存先フォルダに保存されます。
- 添付ファイルによっては、一部登録できない旨の確認画面が表示される場合があります。

2 保存したい保存先またはフォルダを選択

メロディの場合はP.167手順2へ進みます。

静止画の場合はP.166手順3へ進みます。

i モーションの場合はP.177手順2へ進みます。

- ブックマークは i モード、フルブラウザのそれぞれの情報に従って保存されます。
- SDその他ファイル、PC動画、ドキュメントファイルを保存する際に、microSDメモリーカードにすでに最大保存件数まで保存されている場合や、保存容量がいっぱいの場合は、不要なデータを削除してから保存するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択するとデータBOX内の一覧が表示されますので、不要なファイルを選択して削除します。SDその他ファイル、PC動画、ドキュメントファイル以外のファイルがいっぱいのときはP.170参照。

お知らせ

- 100Kバイトを超えるメロディの場合、FOMA端末には保存できません。
- 100Kバイトを超えるFlash画像の場合、FOMA端末には保存できません。
- トルカの場合1Kバイト、トルカ(詳細)の場合100Kバイトを超えていると、FOMA端末には保存できません。

<受信BOX><送信BOX><保存BOX>

受信／送信／保存BOXのメールを表示する

受信BOXのメールを表示する

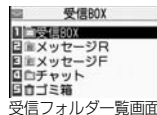
受信した i モードメールは、SMSと合わせて最大2500件まで保存できます。

エリアメールは i モードメール、SMSとは別に30件まで保存できます。

受信した i モードメールやSMS、エリアメールを確認できます。

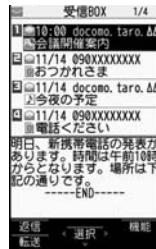
1 受信BOX▶フォルダを選択

- メッセージR、メッセージFを表示する場合はP.216参照



受信フォルダ一覧画面

2 メールを選択



受信メール一覧画面



受信メール詳細画面

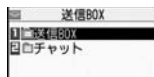
- 未読のメールを選択した場合は「 (ピンク)」が「」に変わります。
- で他のメールを確認できます。
- メールの本文が長い場合はで画面をスクロールして確認できます。また、 (MENU) () () や  () を押すと画面単位でスクロールします。
- メロディが添付されている場合は、自動的に再生されます。(「開封時メロディ再生設定」で変更できます。)
- Feel * MailについてはP.109参照。

送信BOXのメールを表示する

送信した i モードメールやSMSは合わせて最大1000件まで保存できます。

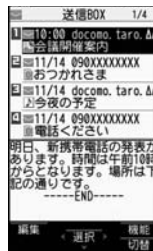
送信した i モードメールやSMSを確認できます。

1 送信BOX▶フォルダを選択



送信フォルダ一覧画面

2 メールを選択



送信メール一覧画面



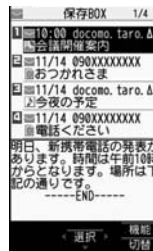
送信メール詳細画面

- で他のメールを確認できます。
- メールの本文が長い場合はで画面をスクロールして確認できます。また、 (MENU) () () や  () を押すと画面単位でスクロールします。

保存BOXのメールを表示する

送信せずに保存してある i モードメールやSMSを編集して送信できます。i モードメールとSMSを合わせて最大20件まで保存できます。

1 保存BOX



保存メール一覧画面

2 メールを選択

i モードメールを選択していた場合はP.182手順2へ進みます。SMSを選択していた場合はP.224手順2へ進みます。

お知らせ

- i アプリメール用フォルダを選択すると、それに対応するメール連動型 i アプリが起動します。

受信／送信／保存メール一覧画面・詳細画面の見かた

■メールメニュー

アイコンには以下のマークが付くことがあります。

	受信BOXに未読メール、メッセージあり
	送信BOXに送信に失敗したメールあり 保存BOXに保存メールあり
	「メールセキュリティ設定」設定中 (チャットメールにも表示されます。)



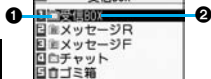
■受信フォルダー一覧画面

①フォルダの状態

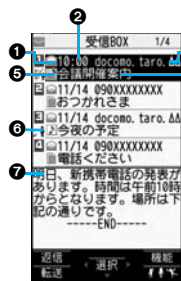
未読のメールがあるときは「NEW」、メールセキュリティを設定すると「」が表示されます。

	通常のフォルダ
	i アプリメール用フォルダ
	メッセージR用フォルダ
	メッセージF用フォルダ
	ゴミ箱フォルダ

②フォルダ名

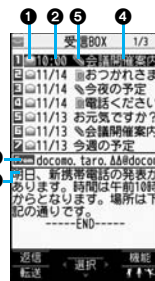


■受信メール一覧画面と受信メール詳細画面



受信メール一覧画面

日時+差出人/宛先 題名の場合



受信メール一覧画面

日時+題名の場合



受信メール詳細画面

①メールの状態やタイプ

保護設定すると「」が表示されます。

	未読メール
	既読メール
	転送済みメール
	返信済みメール
	受信したメールのタイプ(詳細画面のみ)

②受信した時刻や日付

メール一覧画面では、当日受信したメールは時刻が表示され、前日までに受信したメールは日付が表示されます。詳細画面では、受信した日時が表示されます。日付・時刻はセンターから受信した日本時間が表示されます。

③送信元・同報先の電話番号またはメールアドレス

From	送信元メールアドレス(詳細画面のみ)
Fm	返信できない送信元メールアドレス(詳細画面のみ)
	同報メールアドレス(詳細画面のみ)
	返信できない同報メールアドレス(詳細画面のみ)

④題名

「メール一覧表示設定」が「日時+差出人/宛先 題名」の場合、全角11文字/半角22文字まで表示されます。「日時+題名」の場合、全角7文字/半角14文字まで表示されますが、添付ファイルがある場合は先頭にアイコンが表示されますので全角1文字/半角2文字分少なくなります。

SMS、エリアメールの場合は、本文の最初の部分が表示されます。(詳細画面では「SMS」、「エリアメール」と表示されます。)

2in1のモードがデュアルモードの場合は、Bナンバー/Bアドレス宛のSMS/iモードメールの題名または送信元アドレスの後ろに「」が表示されます。

 (青色)	FOMA端末内のSMS
	FOMAカード内のSMS
	エリアメール

⑤添付または貼り付けられているデータ

詳細画面ではデータの容量も表示されます。

<受信メール一覧画面(日時+差出人/宛先 題名)と受信メール詳細画面>
「添付ファイル削除」とアイコンに「」が付きます。(詳細画面のみ)

	メロディデータ
	画像データ
	挿入画像データ (一覧画面のみ)
	i モーションデータ
	PC動画データ
	トルカデータ
	PDFデータ
	ドキュメントデータ
	電話帳データ
	スケジュールまたはToDo データ
	ブックマークデータ
	その他ファイルデータ

	取得前の添付データ (詳細画面のみ)
	取得途中で中断された添付 データ(詳細画面のみ)
	取得に失敗した添付データ (詳細画面のみ)
	i アプリ起動情報 (一覧画面のみ)
	i アプリメール (一覧画面のみ)
	複数のデータ (一覧画面のみ)
	複数の貼付データ
	FOMAカード動作制限機能 が設定されているデータ

<受信メール一覧画面(日時+題名)(日時+差出人/宛先)>

	添付データ
	i アプリメール

	FOMAカード動作制限機能が設定されているデータ
--	--------------------------

⑥Feel*Mailアイコン

Feel*MailについてはP.109参照。

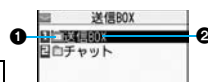
⑦本文

■送信フォルダ一覧画面

①フォルダの状態

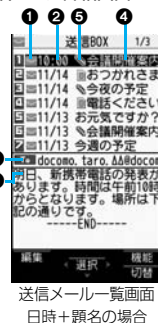
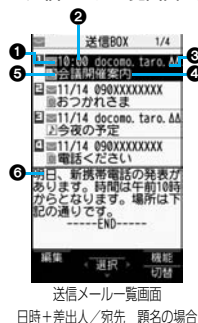
メールセキュリティを設定すると「」が表示されます。

	通常のフォルダ
	i アプリメール用フォルダ



②フォルダ名

■送信メール一覧画面と送信メール詳細画面



①メールの状態

保護設定すると「」が表示されます。

	送信に成功したメール
	送信に失敗したメール
	すべての宛先に送信できた同報メール
	一部の宛先に送信できた同報メール
	すべての宛先に送信できなかった同報メール

②送信した時刻や日付

メール一覧画面では、当日送信したメールは時刻が表示され、前日までに送信したメールは日付が表示されます。詳細画面では、送信した日時が表示されます。日付・時刻が補正されている場合は「」が表示されます。

③送信先の電話番号またはメールアドレス

	送信に成功したメールアドレス（詳細画面のみ）
	送信に失敗したメールアドレス（詳細画面のみ）

④題名

「メール一覧表示設定」が「日時+差出人/宛先 題名」の場合、全角11文字/半角22文字まで表示されます。「日時+題名」の場合、全角7文字/半角14文字まで表示されますが、添付ファイルがある場合は先頭にアイコンが表示されますので全角1文字/半角2文字分少なくなります。SMSの場合は、本文の最初の部分が表示されます。（詳細画面では「SMS」と表示されます。）

	FOMA端末内のSMS
	FOMAカード内のSMS

	SMS送達通知受信済み [一覧画面(日時+差出人/宛先 題名)と 詳細画面のみ]
---	--

⑤添付されているデータ

詳細画面ではデータの容量も表示されます。

<送信メール一覧画面(日時+差出人/宛先 題名)と送信メール詳細画面>
「添付ファイル削除」とアイコンに「」が付きます。（詳細画面のみ）

	メロディデータ
	画像データ
	挿入画像データ （一覧画面のみ）
	i モーションデータ
	PC動画データ
	トルカデータ
	PDFデータ
	ドキュメントデータ

	電話帳データ
	スケジュールまたはToDo データ
	ブックマークデータ
	その他ファイルデータ
	i アプリメール （一覧画面のみ）
	複数のデータ（一覧画面のみ）
	FOMAカード動作制限機能が 設定されているデータ

<送信メール一覧画面(日時+題名)(日時+差出人/宛先)>

	添付データ
	i アプリメール

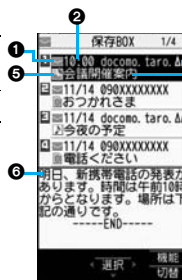
	FOMAカード動作制限機能が 設定されているデータ
---	------------------------------

⑥本文

■保存メール一覧画面

①メールの状態

	通常のメール
	同報メール



日時+差出人/宛先 題名の場合



日時+題名の場合

②保存した時刻や日付

メール一覧画面では、当日保存したメールは時刻が表示され、前日までに保存したメールは日付が表示されます。日付・時刻が補正されている場合は「🕒」が表示されます。

③送信先の電話番号またはメールアドレス

電話番号またはメールアドレスが電話帳に登録されているときは、電話帳に登録されている名前が表示されます。

④題名

「メール一覧表示設定」が「日時+差出人/宛先 題名」の場合、全角11文字/半角22文字まで表示されます。「日時+題名」の場合、全角7文字/半角14文字まで表示されますが、添付ファイルがある場合は先頭にアイコンが表示されますので全角1文字/半角2文字分少なくなります。SMSの場合は、本文の最初の部分が表示されます。

 (青色)	SMSを表示
--	--------

⑤添付されているデータ

<日時+差出人/宛先 題名の場合>

	メロディデータ		電話帳データ
	画像データ		スケジュールまたはToDoデータ
	挿入画像データ		ブックマークデータ
	i モーションデータ		その他ファイルデータ
	PC動画データ		複数のデータ(一覧画面のみ)
	トルカデータ		FOMAカード動作制限機能が設定されているデータ
	PDFデータ		
	ドキュメントデータ		

<(日時+題名)(日時+差出人/宛先)の場合>

	添付データ
	FOMAカード動作制限機能が設定されているデータ

⑥本文

お知らせ

- 受信メール/送信メール/保存メール一覧画面の表示を変更するには、P.213「メール一覧表示設定」をご覧ください。
- 「メール一覧表示設定」で「電話帳登録名で表示」にチェックをしていると、送信元や送信先は電話帳に登録されている名前が表示されます。ただし、送信元が「電話番号@docomo.ne.jp」の場合、電話帳のメールアドレス欄に「電話番号@docomo.ne.jp」を登録していても名前表示されません。電話番号のみを登録すると名前表示されます。また、送信元や送信先の電話番号またはメールアドレスが、シークレット登録された電話帳と一致した場合は、名前が表示されません。シークレットモードもしくはシークレット専用モードに設定すると名前が表示されます。送信元や送信先の電話番号またはメールアドレスが、シークレット登録されていない電話帳と一致しても、シークレット専用モードに設定していると、名前が表示されません。シークレットモードに設定するかシークレット専用モードを解除すると名前が表示されます。
- 「メール一覧表示設定」で「本文表示」にチェックをしていないと、受信メール/送信メール/保存メール一覧画面に本文は表示されません。

メールを管理する

受信フォルダ一覧画面・送信フォルダ一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
フォルダ操作 (フォルダ追加)	新規フォルダを追加します。受信、送信それぞれ22件までフォルダを追加できます。 ▶フォルダ追加▶フォルダ名を入力 ●全角10文字/半角20文字まで入力できます。
フォルダ操作 (フォルダ名編集)	追加したフォルダのみ編集できます。 ▶フォルダ名編集▶フォルダ名を編集 ●全角10文字/半角20文字まで入力できます。
フォルダ操作 (フォルダ並び替え)	フォルダを並べ替えます。追加したフォルダ、メッセージR/Fフォルダ、i アプリメール用フォルダを並べ替えられます。 ▶フォルダ並び替え▶  でフォルダの順番を変更 ▶  (選択)

機能メニュー	操作・補足
フォルダ操作 (フォルダ削除)	フォルダ内のメールもシークレットメールを含めてすべて削除します。 ▶ フォルダ削除 ▶ 端末暗証番号を入力 ▶ YES
フォルダ内表示	メール連動型 i アプリを起動することなく i アプリ用メールフォルダ内のメールを表示できます。
全件既読 [受信フォルダのみ]	フォルダ内の未読メールを既読メールに変更します。 ▶ YES
振分け (自動振分け設定)	P.210参照
振分け (再振り分け)	「自動振分け設定」で設定した振分け条件に従ってメールを再振分けします。 ▶ 再振り分け ▶ YES ● メールセキュリティ (P.204参照) が設定されているフォルダがある場合は、端末暗証番号の入力が必要です。
メールセキュリティ	端末暗証番号を入力しないとフォルダ内を表示できないように設定します。 ▶ 端末暗証番号を入力 ▶ YES ● 解除する場合も同様の操作を行います。
赤外線/iC送信 (赤外線全件送信)	P.310参照
赤外線/iC送信 (iC全件送信)	P.311参照
保存件数確認	受信メール、メッセージR/F、送信メールの保存件数を表示します。
削除 (既読メール全削除) [受信フォルダのみ]	全受信フォルダ内の既読メールをシークレットメールを含めてすべて削除します。FOMAカード内の既読SMSもすべて削除されます。 ▶ 既読メール全削除 ▶ YES
削除 (受信メール全削除) [受信フォルダのみ]	全受信フォルダ内のメールをシークレットメールを含めてすべて削除します。FOMAカード内の受信SMSもすべて削除されます。 ▶ 受信メール全削除 ▶ 端末暗証番号を入力 ▶ YES

機能メニュー	操作・補足
送信メール全削除 [送信フォルダのみ]	全送信フォルダ内のメールをシークレットメールを含めてすべて削除します。FOMAカード内の送信SMSもすべて削除されます。 ▶ 端末暗証番号を入力 ▶ YES

お知らせ

<フォルダ操作(フォルダ削除)>

- 対応するメール連動型 i アプリがある場合、i アプリメール用フォルダは削除できません。
ソフトがない場合は i アプリメール用フォルダを削除できますが、送信フォルダ一覧画面、受信フォルダ一覧画面に作成されたフォルダがともに削除されます。

<振分け(再振り分け)>

- 「チャット」フォルダ、「ゴミ箱」フォルダのメールは再振分けされません。
- 「自動振分け設定」を設定していないメールは「受信BOX」フォルダに振分けられます。

<メールセキュリティ>

- メールセキュリティが設定されたフォルダは、削除またはフォルダ名編集できません。

受信メール一覧画面・送信メール一覧画面・ 保存メール一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
返信／転送(返信) [受信メールのみ]	P.196参照
返信／転送 (引用返信) [受信メールのみ]	P.196参照
返信／転送(転送) [受信メールのみ]	P.196参照

機能メニュー	操作・補足
再編集 [送信メールのみ]	送信したメールを再編集して送信します。 i モードメールを選択していた場合はP.182手順2へ進みます。 SMSを選択していた場合はP.224手順2へ進みます。
保護 (保護／保護解除) [受信メール・送信メール]	メールを上書き・削除されないように保護します。受信メール、送信メールともに全件保護できます。(受信メール2500件、送信メール1000件) 保護すると「  」が表示されます。 ▶保護／保護解除 ●保護を解除する場合も同様の操作を行います。 ●受信メール詳細画面や送信メール詳細画面で「  」を押しても、保護／保護解除が切り替わります。
保護 (選択保護／保護解除) [受信メール・送信メール]	▶選択保護／保護解除▶保護したいメールにチェック／保護解除したいメールのチェックを外す▶  (完了) ●すでに保護されているメールにはチェックが付いています。
移動／コピー (フォルダ移動) [受信メール・送信メール]	▶フォルダ移動▶移動先のフォルダを選択 ▶移動したいメールにチェック▶  (完了) ▶YES
移動／コピー (ゴミ箱へ捨てる) [受信メールのみ]	メールを「ゴミ箱」フォルダに移動します。「ゴミ箱」フォルダに移動したメールは、優先的に上書き(消去)されます。 ▶ゴミ箱へ捨てる▶ゴミ箱に捨てたいメールにチェック▶  (完了) ▶YES
移動／コピー (FOMAカード操作) [受信メール・送信メール]	FOMAカードまたはFOMA端末(本体)へコピー、移動します。(P.361参照)
移動／コピー (microSDへコピー)	P.296参照

機能メニュー	操作・補足
移動／コピー (お預かりセンターに保存)	FOMA端末内に保存されているメールをお預かりセンターに保存します。なお、電話帳お預かりサービスはお申し込みが必要の有料サービスです。 ▶お預かりセンターに保存▶端末暗証番号を入力▶保存したいメールにチェック▶  (完了) ▶YES ●10件まで選択できます。 ●受信メール詳細画面、送信メール詳細画面表示中は、メールをチェックする操作は不要です。
検索／並び替え (送信元検索／宛先検索) [受信メール・送信メール]	送信元／宛先のメールアドレスや電話番号からメールを検索します。 受信メールの場合は「送信元検索」、送信メールの場合は「宛先検索」と表示されます。 ▶メール検索▶送信元検索／宛先検索▶項目を選択 電話帳 ... 電話帳を呼び出して電話番号またはメールアドレスを選択します。 受信アドレス一覧 ... 電話番号またはメールアドレスを選択して  (選択) を押します。 送信アドレス一覧 ... 電話番号またはメールアドレスを選択して  (選択) を押します。 直接入力 ... メールアドレスや電話番号を入力します。 ●半角50文字まで入力できます。
検索／並び替え (題名検索) [受信メール・送信メール]	題名からメールを検索します。 ▶メール検索▶題名検索▶題名を入力 ●全角100文字/半角200文字まで入力できます。
検索／並び替え (題名＋本文検索) [受信メール・送信メール]	題名・本文からメールを検索します。 ▶メール検索▶題名＋本文検索▶題名・本文の一部を入力 ●全角100文字/半角200文字まで入力できます。

機能メニュー	操作・補足
検索／並び替え (ソート) [受信メール・送信メール]	表示される順番を変更します。 ▶ ソート▶ 順番を選択
検索／並び替え (フィルタ) [受信メール・送信メール]	条件に合うメールのみを表示します。 ▶ フィルタ▶ 種類を選択
検索／並び替え (全表示) [受信メール・送信メール]	メール検索・ソート機能・フィルタ機能を行ったあと、すべてのメールを「新しい順」で表示します。 ▶ 全表示
送信＋受信メール [受信メール・送信メール]	選択または表示中の送信元や宛先との送受信履歴を表示します。日付・時刻の新しい順に1000件まで表示します。 ▶ 送信元または宛先を選択 対象の送受信メールが表示されます。 ◀ ... 送信メール ▶ ... 受信メール ● 履歴を選択すると受信メール詳細画面または送信メール詳細画面を表示できます。(CLR)を押すと元の画面に戻ります。 ● 受信メール詳細画面や送信メール詳細画面で(Z)を押しても、送信＋受信メールを表示します。
カラーラベル [受信メール・送信メール]	受信メール一覧画面や送信メール一覧画面の文字に色を付け分別できます。「指定なし」を選択すると通常の文字色になります。 ▶ カラーを選択
一覧表示切替	一覧画面で表示する内容を選択します。送信元や宛先を電話帳に登録されている名前で表示するか、メールアドレスや電話番号で表示するかを選択できます。 「メール一覧表示設定」の設定によっては題名で表示するように設定できます。 ▶ 表示する内容を選択

機能メニュー	操作・補足
赤外線／iC送信 (赤外線送信)	P.309参照
赤外線／iC送信 (赤外線全件送信) [保存メールのみ]	P.310参照
赤外線／iC送信 (iC送信)	P.311参照
赤外線／iC送信 (iC全件送信) [保存メールのみ]	P.311参照
保存件数確認	受信メール、送信メール、保存メールの保存件数を表示します。
削除 (1件削除)	▶ 1件削除▶ YES
削除 (選択削除)	▶ 選択削除▶ 削除したいメールにチェック▶  (完了)▶ YES
削除 (既読削除) [受信メールのみ]	フォルダ内の既に読んだメールをすべて削除します。 ▶ 既読削除▶ YES
削除 (SMS送達通知全削除) [受信メールのみ]	SMS送達通知をすべて削除します。 メール検索機能やフィルタ機能でSMS送達通知を表示させているときは、表示されているSMS送達通知のみ削除されます。 ▶ SMS送達通知全削除▶ 端末暗証番号を入力▶ YES
削除 (フォルダ内全削除) [受信メール・送信メール]	フォルダ内のメールをすべて削除します。 ▶ フォルダ内全削除▶ 端末暗証番号を入力▶ YES
削除(全削除) [保存メールのみ]	保存メールをすべて削除します。 ▶ 全削除▶ 端末暗証番号を入力▶ YES

お知らせ

<再編集>

- 宛先に「メールグループ」を利用する場合は入力済みの宛先をすべて削除し、で宛先削除を完了してから、再び宛先欄を選択してください。

<保護>

- 「ゴミ箱」フォルダにあるメールは保護できません。
- 送信メールが最大保存件数である状態で、送信メールを全件保護すると i モードメールの作成ができません。

<移動／コピー(ゴミ箱へ捨てる)>

- 未読メールをゴミ箱に捨てると、既読メールになります。

<移動／コピー(お預かりセンターに保存)>

- FOMAカードに保存されているSMSは保存できません。
- メールに添付されたデータは保存されません。
- 圏外の場合は電話帳お預かりサービスを利用できません。
- 電話帳お預かりサービスを契約されていない場合は、その旨をお知らせする画面が表示されます。
- お預かりセンターに保存したメールは、お預かりセンターのサイトから FOMA端末に保存できます。詳しくは「ご利用ガイドブック(i モード <FOMA>編)」をご覧ください。

<検索／並び替え>

- メール検索の題名検索で「無題」と設定しても、題名が未入力で「無題」と表示されている i モードメールは検索できません。

<カラーラベル>

- microSDメモリーカードへコピーした場合や、FOMAカードへコピー・移動、FOMAカードからコピー・移動した場合、または赤外線送信、iC送信した場合は、カラーラベルは解除されます。
- FOMAカード内のSMSにカラーラベルを設定した場合、FOMAカードを抜き差しすると、カラーラベルは解除されます。

受信メール詳細画面・送信メール詳細画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
返信／転送 (返信) [受信メールのみ]	P.196参照

機能メニュー	操作・補足
返信／転送 (引用返信) [受信メールのみ]	P.196参照
返信／転送(転送) [受信メールのみ]	P.196参照
再編集 [送信メールのみ]	P.205参照
再送信 [送信メールのみ]	送信したメールを再送信します。 ▶ YES
保護／保護解除	P.205参照
移動／コピー (コピー)	▶ コピー▶ コピーしたい項目を選択 ● コピーの方法についてはP.372参照。 ● 送信元の他に同報先があるとき、または複数の宛先があるときは、コピーしたいメールアドレスや電話番号を選択します。
移動／コピー (フォルダ移動)	▶ フォルダ移動 ▶ 移動先のフォルダを選択
移動／コピー (ゴミ箱へ捨てる) [受信メールのみ]	メールを「ゴミ箱」フォルダに移動します。「ゴミ箱」フォルダに移動したメールは、優先的に上書き(消去)されます。 ▶ ゴミ箱へ捨てる▶ YES
移動／コピー (FOMAカード操作)	FOMAカードまたはFOMA端末(本体)へコピー、移動します。 (P.361参照)
移動／コピー (microSDへコピー)	P.296参照
移動／コピー (お預かりセンターに保存)	P.205参照
ファイル操作 (添付ファイル保存)	P.198参照
ファイル操作 (挿入画像保存)	P.190参照

機能メニュー	操作・補足
ファイル操作 (デコメ絵文字一括保存) [受信メールのみ]	メール本文中にあるデコメ絵文字を一括して保存します。20個まで保存できます。 ▶ デコメ絵文字一括保存 ▶ YES ● 保存しているデコメ絵文字がいっぱいのときはP.170参照。 ● 保存したデコメ絵文字の確認方法についてはP.273参照。
ファイル操作 (テンプレート保存)	送受信したデコメールをテンプレートとして保存します。 ▶ テンプレート保存 ▶ YES ● 保存しているテンプレートがいっぱいのときはP.170参照。 ● 保存したテンプレートの確認方法についてはP.189参照。
ファイル操作 (プロパティ)	本文に挿入されている画像のファイル名とファイルサイズを表示します。 ▶ プロパティ ▶ 画像を選択
ファイル操作 (添付ファイル削除)	▶ 添付ファイル削除 ▶ YES
登録 (アドレス登録)	P.84参照
登録 (電話帳登録)	P.84参照
登録 (自動振分け登録)	送信元や題名を振分け条件に登録します。(P.210参照)
登録 (デスクトップ貼付)	P.114参照
送信+受信メール	P.206参照
カラーラベル	P.206参照
表示設定 (アドレス表示切替)	送信元や宛先を電話帳に登録されている名前で表示するか、メールアドレスや電話番号で表示するかを切り替えます。 ▶ アドレス表示切替 ● (5)を押しても切り替わります。

機能メニュー	操作・補足
表示設定 (スクロール設定)	P.213参照
表示設定 (文字サイズ設定)	P.116参照
SMS送達通知表示 [受信メールのみ]	SMSの送信結果や相手に届いた日時などを確認します。 SMS送達通知を受信するには、「SMS送達通知設定」を「要求する」に設定してください。
赤外線/iC送信 (赤外線送信)	P.309参照
赤外線/iC送信 (iC送信)	P.311参照
削除	▶ YES ● (O)を押しても削除できます。

お知らせ

<再送信>

- 送信に失敗したメールは、再送信すると送信済みのメールとして保存されます。すべての宛先に送信失敗している同報メールも、再送信すると送信済みのメールとして保存されます。

<送信アドレス一覧><受信アドレス一覧>

送受信したメールの履歴を表示する

i モードメールやSMSを送受信すると、送信アドレス一覧と受信アドレス一覧にそれぞれ30件まで記憶され、相手のメールアドレスや電話番号を確認できます。同じメールアドレスまたは電話番号との送受信があった場合、古いデータは削除されます。

●2in1のモードがデュアルモードの場合は、受信アドレス一覧にはAナンバー／AアドレスとBナンバー／Bアドレスの履歴を合わせて60件まで記憶します。

1

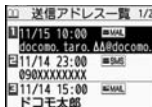
送信アドレス一覧の場合

 を1秒以上押す

-  SMS : 送信に成功したSMS
-  MAIL : 送信に成功した i モードメール
-  SMS : 送信に失敗したSMS
-  MAIL : 送信に失敗した i モードメール

 : 時差補正による時刻

●送信アドレス一覧画面で  () を押すとリダイヤルが表示されます。発信履歴から送信アドレス一覧画面を表示していた場合は、 () を押すと発信履歴が表示されます。



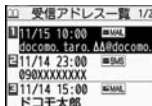
送信アドレス一覧画面

受信アドレス一覧の場合

 を1秒以上押す

-  SMS
-  MAIL : i モードメール
-  : 時差補正による時刻
-  : Bナンバー／Bアドレス宛のSMS／i モードメール(2in1のモードがデュアルモードの場合のみ)

●受信アドレス一覧画面で  () を押すと着信履歴が表示されます。



受信アドレス一覧画面

2 表示したい履歴を選択

アドレス一覧の詳細画面が表示されます。

- 相手の電話番号が通知されなかったSMSの場合は、非通知理由が表示されます。
- 表示されたアドレスに i モードメールを送るには  () を押して P.182 手順3へ進みます。電話番号にSMSを送るには  () を押して P.224 手順3へ進みます。
- 電話帳に登録する場合は、 () を押します。P.84 手順2へ進みます。

送信アドレス一覧・受信アドレス一覧表示中の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
文字サイズ変更	一覧画面の文字サイズを切り替えます。 ●ここでの設定は、「文字サイズ設定」の「発着信履歴」と共通です。
Feel*Mail表示 [受信アドレス一覧のみ]	P.109参照
電話帳登録	P.84参照
デスクトップ貼付	P.114参照
i モードメール作成	i モードメールを作成します。宛先欄にメールアドレスが入力されます。 P.182 手順3へ進みます。
SMS作成	SMSを作成します。宛先欄に電話番号が入力されます。 P.224 手順3へ進みます。

機能メニュー	操作・補足
電話発信	メールアドレスが電話帳に登録されているとき、電話帳の電話番号に音声電話発信、テレビ電話発信します。 ▶ 発信方法を選択 「テレビ電話画像選択」を選択した場合はテレビ電話中に相手に送信する画像を選択します。設定を解除する場合は「設定解除」を選択します。 - 電話帳に複数の電話番号が登録されている場合は、1番目の電話番号に電話をかけます。 ▶ 発信 - 国際電話をかける場合は「国際ダイヤルアシスト」を選択し、国際電話アクセス番号を選択したあと、再度機能メニューから「電話発信」を選択し、上記の操作を行います。(P.60参照) - 発信者番号通知を設定する場合は「発番号設定」を選択します。(P.47手順2参照)
リダイヤル表示・ 発信履歴表示 [送信アドレス一覧のみ]	リダイヤル一覧画面または発信履歴一覧画面を表示します。
着信履歴表示 [受信アドレス一覧のみ]	着信履歴一覧画面を表示します。すべての着信履歴(全着信)を表示します。
1件削除	▶ YES
選択削除	▶ 削除したい履歴にチェック▶  (完了) ▶ YES
全削除	▶ 端末暗証番号を入力▶ YES

<自動振分け設定>

送受信メールを自動的にフォルダに振り分ける

設定した条件に合うメールを、自動的に指定のフォルダに保存します。追加したフォルダ、i アプリメール用フォルダにのみ設定できます。

1 受信フォルダー一覧画面・送信フォルダー一覧画面

▶  (機能) ▶ 振分け ▶ 自動振分け設定

P.211の機能メニュー表の操作を行って自動振分けを設定します。すでに振り分け条件を設定しているフォルダを選択した場合は、自動振分け設定画面が表示されます。

自動振分け登録

送受信したメールの詳細画面から振り分ける条件とフォルダを設定します。

1 送信メール詳細画面・受信メール詳細画面

▶  (機能) ▶ 登録 ▶ 自動振分け登録

▶ 以下の操作を行う

項目	操作・補足
アドレス振分け	表示している送信元や宛先を振り分け条件として設定します。 ▶ フォルダを選択 複数の宛先があるときは、アドレスを選択します。
題名振分け	表示している題名を編集して振り分け条件として設定します。 ▶ 題名を編集 ▶ フォルダを選択

条件を変更するときは

再設定または上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると以前に設定されていた条件が解除され、新たに再設定されます。

同じ条件が他のフォルダに設定されているときは

変更するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると他のフォルダに設定されていた条件は解除され、選択しているフォルダに設定を変更します。

- メールセキュリティがかかっているフォルダに設定されている場合は、設定を変更できません。

「アドレス振分け」が設定されているフォルダに別のアドレスを登録するときは

追加するかどうかの確認画面が表示されます。

お知らせ

- 各フォルダに登録したアドレスの合計が700件まで登録できます。
- 複数の条件にあてはまる場合、以下の優先順位で自動振り分けをします。
 - ①全件振分け
 - ②題名振分け
 - ③返信不可振分け・送信失敗振分け
 - ④アドレス振分け(アドレス参照入力・直接入力)
 - ⑤アドレス振分け(メールグループ参照)
 - ⑥アドレス振分け(グループ参照)
- 同報送信した送信メールは、「アドレス振分け」や「送信失敗振分け」では振り分けられません。
- エリアメールは「アドレス振分け」では振り分けられません。

自動振分け設定画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
アドレス振分け (アドレス参照入力)	フォルダに振り分けるメールアドレスや電話番号を電話帳や送信・受信アドレス一覧から設定します。 ▶ アドレス参照入力 ▶ 項目を選択 電話帳 ... 電話帳を呼び出して電話番号またはメールアドレスを選択します。 送信アドレス一覧 ... 電話番号またはメールアドレスを選択して  (選択) を押します。 受信アドレス一覧 ... 電話番号またはメールアドレスを選択して  (選択) を押します。
アドレス振分け (グループ参照)	フォルダに振り分けるグループを設定します。 ▶ グループ参照 ▶ グループを選択

機能メニュー	操作・補足
アドレス振分け (メールグループ参照)	フォルダに振り分けるメールグループを設定します。 ▶ メールグループ参照 ▶ メールグループを選択
アドレス振分け (直接入力)	フォルダに振り分けるメールアドレスや電話番号を、直接入力します。 ▶ 直接入力 ▶ メールアドレスや電話番号を入力 ●半角50文字まで入力できます。 ●メールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、電話番号のみを入力してください。電話番号のみを入力するとSMSも振り分けすることができます。
題名振分け	フォルダに振り分ける i モードメールの題名を入力します。1つのフォルダに設定できる題名は1件です。 ▶ 題名を入力 ●全角100文字/半角200文字まで入力できます。
返信不可振分け	返信不可のメールを振り分けるよう設定します。1つのフォルダにのみ設定できます。
送信失敗振分け	送信に失敗したメールを振り分けるよう設定します。1つのフォルダにのみ設定できます。
全件振分け	i アプリメール用フォルダにすべてのメールを振り分けるよう設定します。受信と送信それぞれ1つの i アプリメール用フォルダにのみ設定できます。「全件振分け」を設定すると、他の振り分け設定は無効となります。 ▶ YES
アドレス/題名編集	フォルダに設定したメールアドレス、電話番号、題名を編集・登録します。 ▶ メールアドレス、電話番号、題名を編集
一覧表示切替	メールの宛先を電話帳に登録されている名前で表示するか、メールアドレスや電話番号で表示するかを切り替えます。 ▶ 名前表示・アドレス表示 ●  (切替) を押しても切り替えることができます。
解除 (1件解除)	振り分け条件を解除します。(自動振分け設定画面から削除されます。) ▶ 1件解除 ▶ YES

機能メニュー	操作・補足
解除 (選択解除)	メールアドレスや電話番号などを選択して解除します。(自動振分け設定画面から削除されます。) ▶選択解除▶解除したいメールアドレスや電話番号などにチェック▶  (完了)▶YES
解除 (全解除)	振り分け条件をすべて解除します。(自動振分け設定画面から削除されます。) ▶全解除▶YES

お知らせ

<アドレス振分け(グループ参照)>

- 自動振分け設定画面では、グループ名の前に「GR」が表示されます。
- FOMAカード内のグループは設定できません。
- 通常のモード(「シークレットモード」「シークレット専用モード」以外)でシークレットメールを受信した場合は、フォルダに振り分けられません。

<アドレス振分け(メールグループ参照)>

- 自動振分け設定画面では、メールグループ名の前に「M」が表示されます。

<題名振分け>

- 題名が複数のフォルダの振り分け条件にあてはまる場合、「受信BOX」や「送信BOX」に最も近いフォルダに振り分けられます。
- 「無題」と設定しても、題名が未入力で「無題」と表示されている i モードメールは振り分けできません。
- SMSは題名振り分けできません。

<全件振分け>

- SMS送達通知やFOMAカードに直接受信したSMSは振り分けされません。

<メールグループ>

MENU 2 6

メールグループを作成する

メールアドレスをグループごとに登録します。決まった複数の相手にメールを送信できます。

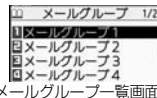
1グループには5件までのメールアドレスが登録できます。グループは20件まで作成できます。

1 MENU 電話帳▶電話帳設定

▶メールグループ

▶登録したいメールグループを選択

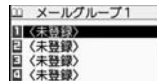
- メールグループにメールアドレスを登録している場合、画面左下に「」が表示されます。 (完了) を押すと、選択しているメールグループを宛先とした i モードメールを作成します。P.182手順3へ進みます。



メールグループ一覧画面

2 <未登録>を選んで (編集)を押す

- 登録済みのメールアドレスを選択すると、メールグループアドレス確認画面が表示されます。



メールグループ詳細画面

3 メールアドレスを入力

- 半角50文字まで入力できます。
- 手順2～手順3を繰り返して複数のメールアドレスを登録します。

メールグループ一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
i モードメール作成	メールグループ宛の i モードメールを作成します。 P.182手順3へ進みます。
グループ名編集	▶メールグループ名を入力 ●全角10文字/半角20文字まで入力できます。
グループ名初期化	メールグループ名をお買い上げ時の名前に戻します。 ▶YES

メールグループ詳細画面・メールグループアドレス確認画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
アドレス編集	P.212手順3へ進みます。 ●  編集 を押してもアドレス編集できます。
アドレス参照入力	電話帳、送信アドレス一覧、受信アドレス一覧から電話番号やメールアドレスを呼び出して入力します。 ▶ 項目を選択 電話帳 ... 電話帳を呼び出して電話番号またはメールアドレスを選択します。 送信アドレス一覧 ... 電話番号またはメールアドレスを選択して  選択 を押します。 受信アドレス一覧 ... 電話番号またはメールアドレスを選択して  選択 を押します。
1件削除	▶ YES
全削除	▶ 端末暗証番号を入力 ▶ YES

<メール設定>

メールやメッセージR/Fの設定を行う

1 ▶ **メール設定** ▶ 以下の操作を行う

項目	操作・補足
スクロール設定	メール詳細画面・メッセージR/F詳細画面・メール作成画面・プレビュー表示の画面で  を押したときにスクロールする行数を設定します。 ▶ 行数を選択
文字サイズ設定	P.116参照

項目	操作・補足
メール一覧表示設定	メール一覧画面で表示したい項目をラジオボタンやチェックボックスを使って設定します。 ▶ 表示方法を選択 ▶  完了
本文表示設定	受信メールを通常表示(先頭から表示)するか、本文から表示するかを設定します。 ▶ 通常表示・本文から表示
メールセキュリティ設定	P.128参照
シークレットメール表示設定	P.127参照
カラーラベル自動設定	受信メール一覧画面での送信元や受信した日付・時刻などの表示色をメールアドレスごとに指定します。10件まで登録できます。 ▶ <未登録> ▶ 項目を選択 電話帳 ... 電話帳を呼び出して電話番号またはメールアドレスを選択します。 送信アドレス一覧 ... 電話番号またはメールアドレスを選択して  選択 を押します。 受信アドレス一覧 ... 電話番号またはメールアドレスを選択して  選択 を押します。 直接入力 ... メールアドレスや電話番号を入力します。 ● 設定済みのカラーを変更するには、  機能 を押して「カラー選択」を選択します。 ● 設定済みの項目を削除するには  機能 を押して「削除」→「1件削除」または「全削除」を選択し、「YES」を選択します。「全削除」を選択した場合は端末暗証番号の入力が必要です。 ▶ カラーを選択

項目	操作・補足
返信時自動学習設定	受信メールへの返信・引用返信・転送時に、メールの題名・本文にある単語を交換候補に優先して表示するかどうかを設定します。 ▶ 学習する・学習しない
冒頭文／署名設定	P.214参照
i モード問い合わせ設定	「i モード問い合わせ」をするときに問い合わせる項目を i モードメール、メッセージR、メッセージFの中から設定します。 ▶ 問い合わせたい項目にチェック ▶  (完了)
メッセージ自動表示設定	P.216参照
受信表示設定	他の機能を操作中でもメール受信中やメール受信結果の画面を表示するかどうかを設定します。 ▶ 通知優先・操作優先 通知優先 ... メール受信時に受信中や受信結果画面を優先します。 操作優先 ... メール受信時に操作中の画面を優先します。
メール選択受信設定	P.195参照
添付ファイル優先受信	i モードメール受信時に添付ファイルも受信するかどうかを設定します。チェックを外している添付ファイルは i モードセンターに保管されます。(チェックを付けていても100Kバイトを超える添付ファイルは i モードセンターに保管されます。) ▶ 受信したい項目にチェック ▶  (完了) ●「ツールデータ」にチェックを付けると電話帳、スケジュール、ToDo、ブックマークを受信します。 ●「その他」にチェックを付けるとPC動画、ドキュメントファイル、FOMA端末では対応していないファイルを受信します。
開封時メロディ再生設定	受信メールの本文を表示時またはメッセージR/F表示時に、添付または貼り付けられているメロディを自動再生するかどうかを設定します。 ▶ 自動再生する・自動再生しない

項目	操作・補足
えチャット表示設定	えチャットを受信したときに、自動的に静止画を表示するかどうかを設定します。 ▶ 自動表示する・自動表示しない
チャット設定	P.222参照
メール設定確認	「メール設定」の各設定内容を確認します。

お知らせ

<本文表示設定>

- 「本文から表示」に設定していても、メール本文の文字数により本文から表示されない場合があります。

<カララベル自動設定>

- 本機能を設定しても、すでに受信したメールの表示色は変更されません。

<i モード問い合わせ設定>

- メッセージRやメッセージFを i モード問い合わせで受信したくない場合は、「□」にしてください。

<開封時メロディ再生設定>

- バックグラウンド再生中は、「開封時メロディ再生設定」の設定に関わらず添付または貼り付けられているメロディは再生されません。

冒頭文／署名設定

冒頭文・署名・引用符を登録します。また、冒頭文や署名を自動的に貼り付けるかどうかを設定します。

1 ▶ メール設定 ▶ 冒頭文／署名設定 ▶ 以下の操作を行う

項目	操作・補足
冒頭文	冒頭文とは、本文の最初に書く挨拶文のことです。 ▶ 冒頭文の欄を選択 ▶ 冒頭文を入力 ▶  (完了) ●全角5000文字/半角10000文字まで入力できます。 ●冒頭文を自動で貼り付けない場合は、「自動貼付」を選択して「 ☒ 」を「 ☐ 」にします。1通ごとの冒頭文貼付についてはP.184参照。

項目	操作・補足
署名	署名とは、本文の最後に書く自分の名前などのことです。 ▶署名の欄を選択▶署名を入力▶  (完了) ●全角5000文字/半角10000文字まで入力できます。 ●署名を自動で貼り付けない場合は、「自動貼付」を選択して「  」を「  」にします。1通ごとの署名貼付についてはP.184参照。
引用符	引用符とは、引用返信するときなどに受信メールから引用したことを表す記号です。 ▶引用符を入力 ●全角10文字/半角20文字まで入力できます。

お知らせ

- 冒頭文や署名にもデコレーションを設定できます。
- 「自動貼付」にチェックを付けていても、エチャット・テンプレート・iアプリからiモードメールを作成するときは、貼り付けられません。
- SMSには冒頭文、署名、引用符を貼り付けることはできません。

<メッセージR/F受信>

メッセージR/Fを自動的に受信する

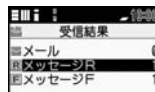
メッセージサービスは、欲しい情報が自動的にお客様のFOMA端末に届くサービスです。

FOMA端末が通話圏内にあるときには、iモードセンターから自動的にメッセージR/Fが送られてきます。

メッセージR/Fが届くと画面の上部に「 (白色)」や「 (白色)」が表示されます。

受信したメッセージR/Fは、それぞれ最大100件まで保存できます。

1 メッセージR/Fを受信すると「 (白色)」または「 (白色)」が点滅し、受信中のメッセージが表示される



受信が終わると、受信したメールとメッセージR/Fの件数が表示されます。

- 「メッセージR」または「メッセージF」を選択すると、メッセージR/F一覧画面が表示されます。
- 「メッセージ自動表示設定」が「自動表示しない」以外に設定されていると、受信したメッセージR/Fの内容が自動で表示されます。自動表示は、「メール/メッセージ鳴動」の設定が0~10秒の場合は15秒、設定が11秒以上の場合は設定した時間に5秒足した時間行われます。
- 何も操作しないで設定時間が経過するとデスクトップに「」「」「」(P.112参照)が表示され、元の画面に戻ります。「メール/メッセージ鳴動」の設定により、秒数は異なります。
を押して、「」「」を選んで「 (選択)」を押すと、メッセージR/F一覧画面が表示されます。
- FOMA端末を閉じているときは、P.31参照。

未読のメッセージR/Fがあるときは

iモードメニューの「メッセージR/F」に「」が付きます。

お知らせ

- 待受画面以外を表示中、iアプリ起動中、公共モード(ドライブモード)中、オールロック中、パーソナルデータロック中は、メッセージR/Fを受信しても自動表示しません。

お知らせ

- 最大保存件数を超えた場合は、古いメッセージR/Fから順に上書きされます。未読または保護しているメッセージR/Fは上書きされません。
- FOMA端末がこれ以上メッセージR/Fを受信できない場合は、「」(黒色)または「」(黒色)が表示されます。不要なメッセージR/Fを削除するか、未読のメッセージR/Fを読むか、保護を解除してください。
- 「」(白色)または「」(白色)のアイコンが表示されたときは、iモードセンターにメッセージR/Fが保管されています。「」(黒色)または「」(黒色)のアイコンが表示されたときは、iモードセンターにメッセージR/Fがいつばいです。「iモード問い合わせ」を行ってメッセージR/Fを受信してください。
- 自動表示後も、メッセージR/F一覧画面の表示では未読になります。ただし、自動表示中にスクロールなどの操作を行ったときは既読となります。
- 以下のような場合にメッセージR/Fを受信したときは、iモードセンターに保管されます。
 - ・電源OFFのとき
 - ・テレビ電話中
 - ・セルフモード設定中
 - ・圏外るとき
 - ・赤外線通信中
 - ・FirstPassセンター接続中
 - ・おまかせロック中
 - ・iC通信中
 - ・microSDへコピー中
 - ・お預かりセンターに接続中
 - ・保護または未読のメッセージにより、メッセージR/Fの容量が満杯のとき

メッセージ自動表示設定

待受中にメッセージR/Fを受信したときの自動表示のしかたを設定します。

1 メール設定 ▶ メッセージ自動表示設定 ▶ 自動表示の方法を選択

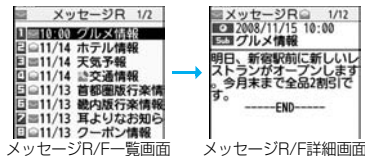
お知らせ

- 「受信BOX」に「メールセキュリティ設定」が設定されている場合や、「メッセージR」フォルダ、「メッセージF」フォルダにメールセキュリティが設定されている場合は、自動表示されません。

<メッセージR/F表示>

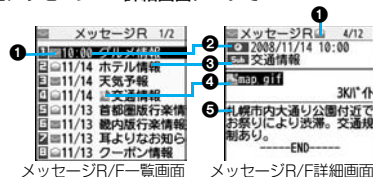
受信したメッセージR/Fを見る

1 受信BOX ▶ メッセージR・メッセージF ▶ 表示したいメッセージR/Fを選択



- 「」▶メッセージR/F▶メッセージR・メッセージF」の操作を行ってもメッセージR/Fを表示できます。
- 未読のメッセージR/Fを選択した場合は「」(ピンク)が「」に変わります。
- で他のメッセージR/Fを確認できます。
- メッセージR/Fの本文が長い場合は「」で画面をスクロールして確認できます。また、「MENU」(▲▼)や「」(▼)を押すと画面単位でスクロールします。

■メッセージR/F一覧画面とメッセージR/F詳細画面について



①メッセージR/Fの状態

保護設定すると「」が表示されます。

	未読のメッセージR/F
	既読のメッセージR/F

②受信した時刻や日付

一覧画面では、当日受信したメッセージR/Fは時刻が表示され、前日までに受信したメッセージR/Fは日付が表示されます。詳細画面では、受信した日時が表示されます。

③題名

④添付または貼り付けられているデータ

詳細画面ではデータの容量も表示されます。

	正常なメロディデータ
	正常な画像データ
	正常なトルカデータ
	複数の添付データ
	複数の貼付データ
	FOMAカード動作制限機能が設定されているデータ

⑤本文

電話帳に登録されている電話番号は、電話帳に登録されている名前が表示されます。

メッセージR/F一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
保護 (保護／保護解除)	メッセージR/Fを上書き・削除されないように保護します。 最大50件(メッセージRとメッセージFそれぞれ)まで保護できます。 保護すると「  」が表示されます。 ▶保護／保護解除 ●保護を解除する場合も同様の操作を行います。
保護 (保護全解除)	▶保護全解除▶YES
検索／並び替え (ソート)	表示される順番を変更します。 ▶ソート▶順番を選択
検索／並び替え (フィルタ)	条件に合うメッセージR/Fのみを表示します。 ▶フィルタ▶種類を選択

機能メニュー	操作・補足
検索／並び替え (全表示)	ソート機能やフィルタ機能を行ったあとに、それらを解除してすべてのメッセージR/Fを「新しい順」で表示します。 ▶全表示
保存件数確認	FOMA端末に保存しているメッセージR/Fの総件数、未読件数、保護件数を表示します。
削除(1件削除)	▶1件削除▶YES
削除(選択削除)	▶選択削除▶削除したいメッセージR/Fにチェック ▶  完了▶YES
削除(既読削除)	既に読んだメッセージR/Fをすべて削除します。 ▶既読削除▶YES
削除 (フォルダ内全削除)	メッセージR/Fをすべて削除します。 ▶フォルダ内全削除▶端末暗証番号を入力▶YES

お知らせ

<検索／並び替え>

- 元に戻すには「全表示」を実行します。
- 一覧画面を終了し、再度それぞれの一覧画面を表示したときは全表示に戻ります。

メッセージR/F詳細画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
保護／保護解除	P.217参照
ファイル操作 (添付ファイル保存)	添付または貼り付けられているファイルを保存します。 (P.198参照)
ファイル操作 (挿入画像保存)	添付された画像を保存して、待受画面、ウェイクアップ画面などに設定できます。(P.190参照)
ファイル操作 (背景画像保存)	▶背景画像保存▶YES▶保存したいフォルダを選択 P.166手順3へ進みます。
ファイル操作 (デコメ絵文字一括保存)	本文に挿入されているデコメ絵文字をすべて保存します。 (P.208参照)

機能メニュー	操作・補足
電話帳登録	P.84参照
削除	▶YES

緊急速報「エリアメール」とは

気象庁から配信される緊急地震速報などを受信することができるサービスです。

- i モードを契約しなくても、エリアメールの受信ができます。
- エリアメール受信には受信設定が必要です。
※エリアメール受信設定についてはP.219参照
- 下記のような場合は受信できないことがあります。
 - ・通話中(音声電話中、テレビ電話中)
 - ・パケット通信中(i モード通信中、データ通信中)
 - ・ソフトウェア更新中
- 下記のような場合は受信できません。
 - ・おまかせロック中
 - ・国際ローミング中
 - ・セルフモード設定中
 ※上記のような理由により受信できなかったメッセージを再度受信することはできません。

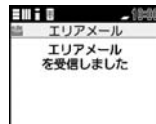
緊急速報「エリアメール」を受信する

エリアメールを受信すると、エリアメール専用の着信音が鳴ります。「着信音量」や「鳴動時間」「バイブレータ」は「メール」の設定に従います。緊急地震速報を受信した場合は、専用のブザー(警報音)が鳴り、バイブレータでお知らせします。また、内容が自動的に表示されます。「着信音量」は「レベル4」、「バイブレータ」は「メロディ連動」に固定されており、変更できません。「鳴動時間」については、「エリアメール設定」で設定できます。

受信したエリアメールは受信BOXに保存され、i モードメール、SMSとは別に30件まで保存されます。

1 エリアメールを受信すると「」が点滅し、受信した旨のメッセージが表示される

- いずれかのボタンを押すと元の画面に戻ります。
- エリアメールによっては、受信時に内容が表示されるものがあります。表示を消すにはを押すか(CLR)またはを押します。
- エリアメールを表示するにはP.198参照。



受信結果画面

お知らせ

- 「オリジナルマナー」で以下のいずれかの音が鳴るマナー設定の場合、緊急地震速報を受信したときは、ブザーが鳴ります。
 - ・メール着信音量 電話着信音量 アラーム音量
 - ・メモ確認音 ボタン確認音
- 「オリジナルマナー」で「バイブレータ」を「OFF」に設定していても、緊急地震速報を受信した場合は、バイブレータは振動します。
- 保存しているエリアメールが30件のときに、新しいエリアメールを受信した場合は、既読のエリアメールで古いものから上書きされます。30件すべて未読のエリアメールの場合は、古いものから上書きされます。
- 受信時に内容が表示されるかどうかについては、エリアメールの提供者側の設定によります。

<エリアメール設定>

緊急速報「エリアメール」の設定を行う

1 [メール] ▶ エリアメール設定 ▶ 以下の操作を行う

項目	操作・補足
受信設定	エリアメールを利用するかどうかを設定します。 ▶ 免責事項をよく読む ▶ 利用する・利用しない
受信登録	緊急情報の他に受信したい情報のMessage IDを登録します。20件まで登録できます。 ▶ <新規登録> ▶ 端末暗証番号を入力 ▶ 登録名を入力 ▶ Message IDを入力 ● 登録済みのMessage IDを選んで [編集] を押して端末暗証番号を入力すると編集できます。 ● 登録名は任意の名称を全角15文字/半角30文字まで入力できます。Message IDはサービス提供者から連絡を受けた半角4文字で入力します。 ● 機能メニューから「編集」を選択しても編集できます。「1件削除」を選択すると1件削除、「全削除」を選択して端末暗証番号を入力するとすべてのMessage IDを削除します。 ● 「緊急情報」は編集／削除できません。
ブザー鳴動設定	ブザー（警報音）が鳴るエリアメールを受信する際にブザーを鳴らすかどうかを設定します。 ▶ 許可・非許可 ● 「非許可」に設定した場合は、エリアメール専用の着信音が鳴ります。
ブザー鳴動時間	ブザーが鳴る時間を設定します。 ▶ 鳴動時間(秒)を入力 ● 「01」～「30」の2桁を入力します。

<チャットメール>

チャットメールを利用する

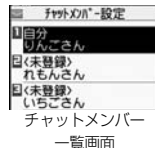
チャットメールでは、1つの画面で複数の相手とメールのやりとりができます。チャットメールを行うには、チャットメンバーを登録しておく必要がありますが、チャットグループを作成しておくことで簡単に登録できます。

チャットメンバーを登録する

チャットメンバーはユーザ（自分）を含めて6人まで登録できます。

1 [メール] ▶ チャットメール ▶ [機能] ▶ チャットメンバー ▶ <未登録> ▶ メールアドレスを入力

- 編集する場合は、登録済みのメンバーを選択します。
- メールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、電話番号のみを登録してください。
- 半角50文字まで入力できます。



お知らせ

- 登録済みのメンバーのメールアドレスを編集した場合は、メンバー名と画像も変更されます。

チャットメンバー一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
編集	メールアドレスを編集します。 P.219「チャットメンバーを登録する」手順1へ進みます。

機能メニュー	操作・補足
メンバー参照入力	電話帳、受信アドレス一覧、送信アドレス一覧から電話番号やメールアドレスを呼び出して入力します。 ▶項目を選択 電話帳 ... 電話帳を呼び出して電話番号またはメールアドレスを選択します。 送信アドレス一覧 ... 電話番号またはメールアドレスを選択して ☐ (選択) を押します。 受信アドレス一覧 ... 電話番号またはメールアドレスを選択して ☐ (選択) を押します。
メンバー入れ替え (チャットグループ)	チャットグループに登録しているメンバーをチャットメンバーに登録します。 ▶チャットグループ▶グループ一覧・メンバー一覧 グループ一覧... チャットグループ単位で選択します。 メンバー一覧... チャットグループに登録されている全メンバーから選択します。 「グループ一覧」を選択した場合は、チャットグループを選択します。 選択したチャットグループのメンバーが登録されます。 「メンバー一覧」を選択した場合は、登録したいメンバーをチェックし、☐ (完了) を押します。 - すでにチャットメンバーが登録されている場合は、すべてのチャットメンバーを入れ替えるかどうかの確認画面が表示されます。
メンバー入れ替え (メールグループ)	メールグループに登録しているメールアドレスをチャットメンバーに登録します。 ▶メールグループ▶メールグループを選択 すでにチャットメンバーが登録されている場合は、すべてのチャットメンバーを入れ替えるかどうかの確認画面が表示されます。

機能メニュー	操作・補足
詳細設定確認	チャットメンバーのメンバー名、画像、背景色、メールアドレスを確認します。 ☐ でメンバーを切り替えることができます。 - ユーザ(自分)のメールアドレスは表示されません。
削除 (1件削除)	▶1件削除▶YES
削除 (全削除)	▶全削除▶YES

チャットメールをやりとりする

1 ☐ (送信) ▶チャットメール



チャットメール画面

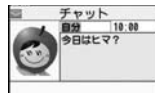
2 ☐ (選択) ▶文字を入力

- 全角250文字/半角500文字まで入力できます。



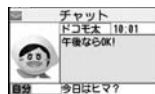
3 ☐ (送信) を押す

- チャットメールが送信されます。
- 送信したチャットメールは、チャットメール画面の一番上に表示されます。



4 受信中の画面が表示され、チャットメールを受信する

- 受信したチャットメールは、チャットメール画面の一番上に表示されます。
- 手順2～手順4を繰り返してチャットメールをやりとりします。



5 CLR ▶ YES・NO

YES... 既読のチャットメールと送信したチャットメールを「チャット」フォルダから削除します。

NO... 既読のチャットメールと送信したチャットメールを「チャット」フォルダから削除しません。

チャットメールが終了します。

- を押してもチャットメールを終了できます。

- 送受信したチャットメールが1件もない場合、確認画面は表示されません。

■チャットメール画面について

①画像

チャットグループで登録した画像が表示されます。

②メンバー名

チャットグループに登録しているメンバー名が表示されます。また、設定している背景色で表示されます。

- チャットグループに登録していない場合は、メールアドレスの先頭から半角8文字までが表示されます。メールアドレスを電話帳に登録しているときは、電話帳に登録している名前からの先頭から全角4文字/半角8文字までが表示されます。

③同報マーク

複数の宛先を設定しているチャットメールを受信した場合に表示されます。

(青色): すべての宛先をチャットメンバーに登録している場合

(紺色): チャットメンバーに登録していない宛先がある場合

④送受信日時

送受信した日時を表示します。当日送受信したチャットメールは時刻が表示され、前日までに送受信したチャットメールは日付が表示されます。

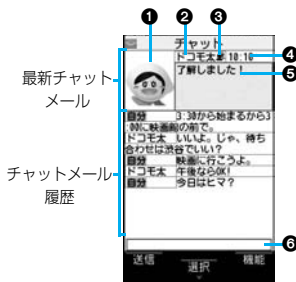
⑤本文

チャットメールの本文を表示します。表示される本文は全角250文字/半角500文字までです。

本文が4行を超える場合は が表示され、 を押してページを切り替えることができます。

- チャットメール履歴の本文はページを切り替えることができません。

- 正常に送信されたチャットメールの本文は黒色で表示されます。送信に失敗したチャットメールの本文はグレーで表示されます。



⑥入力ボックス

入力した文字(送信する文字)の先頭から1行分を表示します。

お知らせ

- 複数の相手とチャットメールをやり取りした場合の通信料は、1通のみ送信した場合と同じです。(ただし、追加した宛先の情報量については通信料が増えます。)
- 「メール選択受信設定」が「ON」に設定されていると、チャットメールは行えません。
- 受信メールが未読や保護でいっぱいの場合は、チャットメールは行えません。不要なメールを削除するか、未読のメールを読むか、保護を解除してから再度操作してください。
- 添付ファイルや貼付データは表示されません。
- 送受信したチャットメールは「チャット」フォルダに保存されます。
- 送信したチャットメールの題名は「チャットメール」(半角)となります。
- チャットメール画面表示中は、チャットメール本文に電話番号・メールアドレス・URLが含まれていても、Phone To / AV Phone To 機能・Mail To 機能・Web To 機能は利用できません。ただし、チャットメールを終了し、「受信BOX」や「送信BOX」からチャットメールを表示した場合は利用できます。
- ミュージックプレーヤーで音楽を再生中は、チャットメールのお知らせ音は鳴りません。

待受中にチャットメールを受信すると

待受中にチャットメールを受信すると、デスクトップに が表示されます。

を押し、「」を選んで を押すとチャットメールが起動します。

お知らせ

- 以下の場合に、チャットメールと認識します。
 - ・送信元や宛先のアドレスが、チャットメンバーやチャットグループに登録されている場合
 - ・題名に「チャットメール」(すべて全角、またはすべて半角)が含まれている場合
- チャットメール起動中に、チャットメンバー以外のチャットグループのメンバーからチャットメールを受信した場合も が表示されます。

デスクトップ・チャットグループからチャットメールを起動すると

チャットメンバーに登録していないメールアドレスやチャットグループから起動した場合は、登録しているメンバーを削除して起動するかどうかの確認画面が表示されます。

「YES」を選択すると現在のチャットメンバーを削除して、送信元のメールアドレスやチャットグループのメンバーがチャットメンバーに登録されます。

デスクトップから起動した場合

送信元のメールアドレスがチャットメンバーに登録されます。送信元のメールアドレスをチャットグループに登録している場合は、そのグループのメンバーがチャットメンバーに登録されます。ただし、送信先を選択されているのは、送信元のメールアドレスのみです。

チャットグループから起動した場合

チャットグループのメンバーがチャットメンバーに登録されます。送信先にはグループのメンバーすべてが選択されています。

チャットメール画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
送信	チャットメールを送信します。
送信先選択	チャットメンバーの中から、チャットメールを送信する宛先を選択します。 ▶送信したい宛先にチェック▶  (完了)
チャットメンバー	チャットメンバーに登録します。(P.219参照)
同報宛先確認	同報送信されたチャットメールの宛先を確認します。 ●チャットメンバーに登録していない宛先がある場合は、チャットメンバーに登録するかどうかの確認画面が表示されます。登録する場合は、「YES」を選択し、登録したい宛先をチェックして  (完了)を押します。
更新	自動的に受信できなかったチャットメールを受信します。新しいチャットメールを受信すると、チャットメール画面が更新されます。
先頭表示	最も新しいチャットメールを表示します。
最終表示	最も古いチャットメールを表示します。

機能メニュー	操作・補足
既読削除	受信した既読のチャットメールと送信したチャットメールをシークレットメールや送信に失敗したチャットメールも含めてすべて削除します。 ▶YES

お知らせ

<同報宛先確認>

- チャットメンバーはユーザ(自分)を含めて6人まで登録できます。

チャット設定

1 ▶メール設定▶チャット設定▶以下の操作を行う

項目	操作・補足
お知らせ音設定	チャットメール画面でチャットメールを送受信したときに鳴るお知らせ音を設定します。 ▶フォルダを選択▶お知らせ音を選択 ●チャットメンバーに登録していないメンバーから受信したときは鳴りません。
チャットメール画像設定	チャットメール画面で画像を表示するかしないかを設定します。 ▶有効・無効
ユーザ詳細設定	ユーザ(自分)の名前、画像を設定します。 ▶ユーザ名欄を選択▶ユーザ名を入力 ●全角4文字/半角8文字まで入力できます。 ●ユーザ名を変更しない場合は次の操作へ進みます。 ▶画像欄を選択▶フォルダを選択▶画像を選択

チャットグループを作成する

チャットメールを行いたいメールアドレスをグループごとに登録します。複数のメンバーをグループに登録しておけば、一度にチャットメンバーとして設定できます。

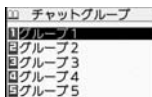
1グループには5件までのメールアドレスが登録できます。グループは5件まで作成できます。

1 MENU ▶ 電話帳 ▶ 電話帳設定

▶ チャットグループ

▶ 登録したいチャットグループを選択

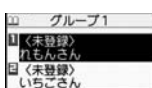
- チャットグループにメンバーを登録している場合、画面左下に「CHAT」が表示されます。
-  (CHAT) を押すと、チャットグループのメンバーがチャットメンバーに登録され、チャットメールが起動します。P.220手順2へ進みます。



チャットグループ
一覧画面

2 <未登録>を選んで (編集) を押す

- 登録済みのメールアドレスを選択すると、チャットグループアドレス確認画面が表示されます。



チャットグループ
詳細画面

3 メールアドレスを入力

- 半角50文字まで入力できます。
 - 入力したメールアドレスが電話帳に登録されており、電話帳に画像が登録されているときは、画像も設定されます。
 - メールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、電話番号のみを登録してください。
- 手順2～手順3を繰り返して複数のメールアドレスを登録します。

チャットグループ一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
チャット起動	チャットグループのメンバーがチャットメンバーに登録され、チャットメールが起動します。 P.220手順2へ進みます。
グループ名編集	▶ チャットグループ名を入力 ● 全角10文字/半角20文字まで入力できます。
グループ名初期化	チャットグループ名をお買い上げ時の名前に戻します。 ▶ YES

チャットグループ詳細画面・チャットグループアドレス確認画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
編集	メールアドレスを編集します。 P.223手順3へ進みます。 ●  (編集) を押しても編集できます。
メンバー参照入力	電話帳、送信アドレス一覧、受信アドレス一覧から電話番号やメールアドレスを呼び出して入力します。 ▶ 項目を選択 電話帳 ... 電話帳を呼び出して電話番号またはメールアドレスを選択します。 送信アドレス一覧 ... 電話番号またはメールアドレスを選択して  (選択) を押します。 受信アドレス一覧 ... 電話番号またはメールアドレスを選択して  (選択) を押します。

機能メニュー	操作・補足
メンバー入れ替え	メールグループに登録しているメンバーをチャットグループに登録します。 ▶ メールグループ▶メールグループを選択 ●すでにチャットグループにメンバーが登録されている場合は、すべてのメンバーを入れ替えるかどうかの確認画面が表示されます。
メンバー詳細設定	メンバーのメンバー名、画像を設定します。  を押してメンバーを切り替えることができます。 ▶ メンバー名欄を選択▶メンバー名を入力 ●全角4文字/半角8文字まで入力できます。 ●メンバー名を変更しない場合は次の操作へ進みます。 ▶ 画像欄を選択▶フォルダを選択▶画像を選択
削除	▶ YES
全削除	▶ 端末暗証番号を入力▶ YES

<SMS作成>

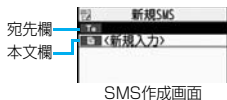
SMSを作成して送信する

SMSを作成して送信します。

送信したSMSは、i モードメールと合わせて最大1000件まで送信BOXに保存できます。

- ドコモ以外の海外通信事業者のお客様との間でも送受信が可能です。利用可能な国・海外通信事業者についてはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。
- 送信したSMSはFOMAカードへ移動・コピーできます。(P.361 参照)

1 SMS作成



SMS作成画面

2 宛先欄を選択▶項目を選択

電話帳.....電話帳を呼び出して電話番号を選択します。

送信アドレス一覧.....電話番号を選択して **送信**を押します。

受信アドレス一覧.....電話番号を選択して **送信**を押します。

直接入力.....電話番号を入力します。

宛先は1件しか指定できません。

- 21桁まで入力できます。[+]を含む)

- 宛先がドコモ以外の海外通信事業者の場合、[+](を1秒以上押す)、[国番号]、[相手先携帯電話番号]の順に入力します。携帯電話番号が[0]で始まる場合は[0]を除いた電話番号を入力します。また、[010]、[国番号]、[相手先携帯電話番号]の順に入力しても送信できます。(受信した海外からのSMSに返信する場合は、[010]を入力してください。)

3 本文欄を選択▶本文を入力

- 入力できる文字数は「SMS本文入力設定」により異なります。

4 **送信**を押す

送信中のアニメーション画面が表示され、メールが送信されます。

5 OK

お知らせ

- 電波状況により、相手に文字が正しく送信されない場合があります。
- FOMA端末に保存した送信メールが最大保存件数を超えた場合は、送信メールのうち古いメールから順に上書きされます。ただし、保護している送信メールは上書きされません。
- 送信BOXに送信メールを最大保存容量まで保存していて、そのすべてを保護している場合、または保存メールが20件ある場合や保存BOXの容量がいっぱいの場合は、SMSを作成できません。
送信メールの保護を解除するか保存メールを送信または削除してから操作をやり直してください。
- 「発信者番号通知設定」を「通知しない」に設定していても、送信相手には発信者番号が通知されます。また、宛先の先頭に「184」または「186」が入力されているSMSを送信しようとすると発信番号設定を削除して送信するかどうかの確認画面が表示されます。

お知らせ

- 「SMS送達通知設定」を「要求する」にしている場合は、moVaサービスのiモード端末へ送ることができません。
- 「+」は宛先の先頭でのみ有効です。
- 宛先に数字、「*」、「#」、「+」以外の文字が含まれている場合は送信できません。
- 本文編集集中に改行できません。
- 本文に特殊記号(P.433参照)を入力した場合、半角スペースに置き換えられます。
- スペースも文字と同じように文字数にカウントされます。
- 送信元が非通知設定／公衆電話／通知不可能のSMSには返信できません。
- 2in1のモードがBモードの場合は、SMS作成はできません。

SMS作成画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
送信	SMSを送信します。 P.224手順5へ進みます。
送信プレビュー	送信する前に宛先、本文の内容を確認します。 ●  (送信) を押すとSMSを送信できます。
保存	作成中や編集中のSMSを保存BOXに保存します。 ●宛先と本文が未入力の場合は保存できません。
SMS送達通知設定	P.226参照
SMS有効期間設定	P.226参照
SMS本文入力設定	P.227参照

<SMS受信>

SMSを自動的に受信する

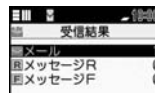
受信したSMSは、iモードメールと合わせて最大2500件まで保存できます。

- 受信したSMSはFOMAカードへ移動・コピーできます。(P.361参照)

1 SMSを受信すると「 (白色)」が点灯し、受信中のメッセージが表示される

受信が終わると、受信したSMSの件数が表示されます。

- 「メール」を選択すると受信メール一覧画面が表示されます。
- 何も操作しないで約15秒経過するとデスクトップに「」(P.112参照)が表示され、元の画面に戻ります。「(メール/メッセージ鳴動)」の設定により、秒数は異なります。
-  を押し、「」を選んで (選択) を押すと、受信メール一覧画面が表示されます。
- FOMA端末を閉じているときは、P.31参照。



受信結果画面

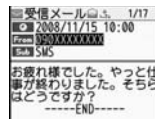
お知らせ

- FOMA端末に保存している、未読または保護している受信メールの合計が最大保存件数になった場合は、新しいメールを受信できず、「 (黒色)」が表示されます。SMSを受信するには、「 (黒色)」が消えるまで受信メールを削除するか、未読のメールを読むか、保護を解除してから「SMS問い合わせ」を行ってください。

新着SMSを表示する

1 受信結果画面▶メール ▶表示したいSMSを選択

- SMSの詳細画面で を1秒以上押すと、本文の文字の大きさが変わります。「拡大表示」に設定すると、フォルダー一覧画面とメール一覧画面の文字サイズも大きくなります。



お知らせ

- 受信したSMSに入力されている文字によっては、スペースで表示されることがあります。
- 表示したSMSの送信元(電話番号)を反転表示した状態で **「選択」**を押すと、表示されている電話番号に音声電話・テレビ電話発信できます。(Phone To/AV Phone To 機能)
また、送信元の電話番号を電話帳に登録しているときは、登録している「名前」が反転表示されます。この場合も同様の操作で電話をかけることができます。
- FOMA端末では、ショートメールをSMSとして受信します。相手の電話番号が通知されない場合は、その理由が送信元欄に表示されます。

<SMS問い合わせ>

SMSがあるかどうかを問い合わせる

SMSセンターに届いたSMSは自動的にFOMA端末へ送信されますが、FOMA端末の電源が入っていないときや、圏外などで受信できないときはSMSセンターに保管されます。
SMSセンターへ問い合わせを行い、それらを受信してください。

1 SMS問い合わせ

2 戻る

センターにSMSが保管されていれば、自動的に受信されます。

お知らせ

- 問い合わせを行っても、すぐにSMSが届かない場合があります。
-  (黒色) /  (黒色)などが表示されたときは、これ以上SMSを受信できません。不要なメールを削除するか、未読のメールを読むか、保護を解除してください。(読んだり、保護を解除したりしたメールは、古いものから順に自動的に上書きされます。)
- 本機能で i モードメールやメッセージR/Fは受信できません。i モードメールやメッセージR/Fは「i モード問い合わせ」で受信してください。

<SMS設定>

SMSの設定を行う

SMS送達通知設定

SMSの送信時に、SMS送達通知を要求するかどうかを設定します。
SMS送達通知とは、SMSが相手に届いたことをお知らせするメールです。
受信したSMS送達通知は「受信BOX」フォルダで確認できます。

1 SMS設定 ▶ SMS送達通知設定 ▶ 要求する・要求しない

- SMS作成画面の機能メニューから操作した場合、設定は作成中のSMSにのみ有効です。

SMS有効期間設定

送信したSMSが圏外などで届かなかった場合にSMSセンターに保存される期間を設定します。

1 SMS設定 ▶ SMS有効期間設定 ▶ 保存期間を選択

- 「0日」に設定すると、一定時間経過後に再送され、SMSセンターから削除されます。
- SMS作成画面の機能メニューから操作した場合、設定は作成中のSMSにのみ有効です。

SMS本文入力設定

SMSの本文に入力できる文字を設定します。半角英数字、半角記号のみ入力できるように設定できます。

1 SMS設定 ▶ SMS本文入力設定 ▶ 項目を選択

日本語入力(70文字)

..... 全角文字、半角文字が入力できます。「♥」「☎」(P.429参照)を除く絵文字は入力できません。本文は70文字まで入力できます。

半角英数字入力(160文字)

..... 半角英数字、半角記号のみ入力できます。本文は160文字まで入力できます。

- SMS作成画面の機能メニューから操作した場合、設定は作成中のSMSにのみ有効です。

SMS center設定

※通常は、設定を変更する必要はありません。

SMSセンターのアドレスと「Type of number」の設定をします。
現在利用しているSMSサービスとは別のサービスを受けるときに設定します。

1 SMS設定 ▶ SMS center設定 ▶ ユーザ設定 ▶ アドレスを入力

- 半角20文字まで入力できます。
- ユーザ設定をリセットして「ドコモ」に戻すには、
「リセット ▶ 端末暗証番号を入力 ▶ YES」の操作を行います。

2 International・Unknown

- 入力したアドレスに「*」や「#」が含まれている場合、「International」に設定できません。

<WEBメール>

WEBメールを利用する

- i モードのサイト上でメールの送信や受信メールの閲覧などを行います。
- 2in1のモードがBモードまたはデュアルモードの場合のみ利用できます。
- WEBメールの詳細については、「ご利用ガイドブック(2in1編)」をご覧ください。

1 WEBメール ▶ 画面の表示に従って操作

